令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀　剣　界　第60号

『刀剣界』創刊10周年記念号

2021.7.15　No.60
発行人　深海　信彦
発行所　全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保２－18－10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentosho.com/

第60号編集担当　赤荻　稔　飯田　慶雄
伊波　賢一　大平　岳子　大平　将広　嶋田　伸夫
清水　儀孝　生野　正　瀬下　明　土子　民夫
綱取　譲一　土肥　富康　服部　暁治　深海　信彦
松本　義行　冥賀　吉也　持田　具宏

『刀剣界』の創刊10周年をお祝いします

参議院議員
刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟　事務局長
山田　宏

『刀剣界』創刊十周年を心よりお慶び申し上げます。

わが国の国家としての伝統や文化に深く根差し、三種の神器の一つとして皇室に伝えられ引き継がれている、わが国最高峰の工芸品である神聖な刀剣。その伝統文化を守るため、①刀剣と和鉄文化の理解と啓発、②和鉄利用の促進とたたら製鉄の振興、③「日本刀」ブランドの保護と刀匠の支援を目的に、平成三十年に自民党国会議員で「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」を発足致しました。

その後、保存振興のための予算も大幅にアップし、今年は文化観光推進法に基づく計画認定に備前長船刀剣博物館が選ばれたとのうれしいニュースも飛び込んでまいりました。

今後は、刀剣界からの新たな人間国宝の誕生を目標に、令和四年夏に「令和の名刀・名工展」という現代刀の全国コンテストを開催し、継続していかなければなりません。刀剣という日本固有の伝統文化を守り広めるため、皆さんとともにしっかりがんばりたいと思います。

公益財団法人日本美術刀剣保存協会
会長　**酒井　忠久**

この度は『刀剣界』新聞創刊十周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。この喜びの節目を迎えられましたことは、歴代の貴組合理事長様をはじめ、関係皆様の並々ならぬご努力の賜物と、心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

昭和六十二年の設立から刀剣をこよなく愛しておられる皆様の互助と刀剣市場の安定に寄与され、さらに貴紙創刊により、刀剣界の動向から法制度解説、催事案内に至るまできめ細やかな情報発信に努められ、組合員の皆様のみならず愛刀家の方々にも貴重な情報共有の場を提供されるとともに、近年では一層安全安心な流通の確保のため「刀剣評価鑑定士」の資格制度を設けるなど、不断に刀剣界に多大な貢献をしてこられた貴組合に深い敬意を表します。

当協会も設立来、愛刀家の皆様のご支援に支えられ刀剣類の保存・普及に努めてまいりましたが、貴紙に当協会の事業や成果を取り上げていただいたことで、さらに多くのご支援を賜る機会に恵まれておりますこと、厚く御礼申し上げます。

むすびに、現在新型コロナウイルス感染症拡大といった厳しい社会情勢下にございますが、貴組合のご発展と、創刊十年を節目に刀剣文化をますます発信されている『刀剣界』新聞のご発展、関係皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

公益財団法人佐野美術館
理事長　**渡邉　妙子**

『刀剣界』が創刊された平成時代後期、昭和時代の刀剣ブームは影を潜め、大先生方や大収集家たちは幽冥境を異にされていました。二十一世紀へと激動する社会、日本刀が遠い世界の存在となりつつありました。そのような中、同業者が意思疎通の必要性から『刀剣界』が生まれたといわれます。

先代の愛刀の手入れ保管、登録制度、売却も、現代の若者には難解なこと、怖い。それが世の多くの人の持つ認識です。しかし、本紙第59号をもし目にしたら、その認識は少し変わるのではないか、と思われます。

日本刀は世界に多くの収集家が生まれている一方、世界の中でも、日本刀を武器として輸出入を禁止する国もあるとのこと。世界の価値観は多様化しているなど、世界の情報を読み取れる本紙は、読者にとって有難いことです。

本紙には、刀剣が展示されている美術館・博物館を全国津々浦々まで、丁寧に拾い上げ紹介されています。それらの館へ、女子たちが集い、感動の眼をもって愛で、さらには刀剣の収集、また、女子が守り刀として刀匠に発注した新作刀が、発表会で最高賞を受けたとのこと。明るい情報には元気が出ます。

創刊十周年おめでとうございます。内容が充実してきています。国内外を問わず、現代、日本刀に惚れ込んでいる人の声を、また、日本刀に困っている人に耳を傾け、誠意をもって解決する方法など、世の中に広く役に立つ広報紙であってほしいと思います。

株式会社東京美術倶楽部
代表取締役社長
東京美術商協同組合　前理事長
中村　純

『刀剣界』の発行が十周年を迎えるに当たり、株式会社東京美術倶楽部、並びに東京美術商協同組合を代表してご挨拶を申し上げます。

貴紙は刀剣商として必要な情報のみならず、お店紹介、コラムなど、内容も充実しており、刀剣の売買において不可欠な「登録証」についての記事連載は、各方面へ認識を広げているとも伺い、敬意を表したいと思います。

さらに、昨年七月発行号においては「東京美術倶楽部のコロナ禍対策と刀剣交換会」というタイトルで大々的に取り上げていただき、その後も、弊社の「安心・安全な会場づくり」のPRにも貢献いただきました。

また、こうした「組合員への情報発信と共有」は、東京美術商協同組合としても、重要な取り組みであると認識しており、いつも参考に拝読しております。

今日ここに十年の継続をお迎えになりますのも、貴組合の皆々様の日頃のご努力とご研究の熱心さの成果と拝察申し上げます。未だコロナ禍で厳しい状況下ではありますが、これを機に、今後なお一層のご躍進を遂げられますようお祈り申し上げます。

公益財団法人日本刀文化振興協会
理事長　**吉原　国家**

この度、全国刀剣商業協同組合が発行する『刀剣界』が創刊十周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げ、これまで発行に関わってこられた各位に敬意を表す次第です。

発刊以来、ただ単に刀剣業者の業界紙という枠にとらわれることなく、広く刀剣社会全体を俯瞰した編集の方針は、時に貴重な提言となっております。現在でも刀剣社会には登録や海外からの日本刀の流入などの考慮すべきことが多々あり、それらを考えるひとつの機会となってまいりました。

また、昨今は女性、若い皆さんを中心に関心を持たれ、日本

←次ページに続く

日本刀の
江州屋
名品・名刀を販売
店主　小暮　舜一
〒529-1315
滋賀県愛知郡愛荘町沓掛80-1
TEL 0749-42-2736
携帯 090-3162-7641
http://www.goushuya-nihontou.com

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定
㈱城南堂古美術店
代表
田中　勝憲
〒153-0051
東京都目黒区上目黒四-三一-一〇
TEL 〇三-三七一〇-六七七六
〇九〇-三三〇八-九六一二
FAX 〇三-三七一〇-六七七七

刀買取委託
e-sword　イーソード
〒350-1115 埼玉県川越市野田町 1-4-19 1F
TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407
刀 通販サイト
www.e-sword.jp
日本刀 イーソード 検索
mail:info@e-sword.jp
㈱ e-sword（イーソード） 平子誠之

刀剣・書画・骨董
和敬堂
土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
http://wakeidou.com/

刀剣　髙吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 090-8845-2222
代表者　髙島吉童
東京都北区滝野川７-16-６
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

令和3年7月15日発行（隔月刊）

刀　剣　界

第60号

刀はブームになっていると言われて久しく、私どもの団体もイベントの開催の案内等で有効に活用させていただいておりますことに感謝申し上げます。

興味深い展覧会のご案内、刀剣に関する文献の紹介、新たな研究の発表、それらの情報を網羅し、多くの日本刀愛好家に提供してくださる貴紙の存在の大きさ、役割に今後も期待するところです。

一般社団法人日本申膏武具研究保存会
会長　**永田 仁志**

全国刀剣商業協同組合発行の業界新聞『刀剣界』が創刊から十周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

日本固有の武器・武具は実用の具であるとともに、その精緻な作りはまさに美術工芸品でもあり、長い間大事に扱われてきました。中でも刀剣・甲冑は、その代表的な武器・武具で侍文化の象徴でもあります。この貴重な歴史的文化遺産を扱う刀剣商業に携わる皆様にとって、『刀剣界』は多くの共有すべき知識・情報の提供源として欠くべからざる存在になっています。

今後も『刀剣界』がより一層充実、信頼される業界紙となりますよう、そして刀剣商業の益々のご発展、ご隆盛を祈念申し上げます。

全日本刀匠会 会長
宮入小左衛門行平

『刀剣界』創刊十周年、おめでとうございます。長きにわたり発刊に携わってこられた、全国刀剣商業協同組合及び同紙編集委員会の皆さまのご努力に、心から敬意を表します。

貴紙におかれましては、日本刀文化に関する豊富な情報を取得、発信する媒体として、私どもも全日本刀匠会にとりましても大変有効でありました。展覧会催事や刀鍛冶一個人の個展等の情報も積極的に取り上げてくださるなど、これまで活用させていただきましたことに衷心より感謝申し上げます。

発刊を継続することのご苦労はお察し申し上げますが、今後も貴重な情報源としてのお立場を維持してくださいますことを祈念いたしております。

美術刀剣研磨技術保存会
会長　**本阿彌 光洲**

この度は『刀剣界』が創刊十周年を迎えられました事、心よりお祝い申し上げます。

御紙がわが国の大切な文化遺産に対し情報発信、広報にご尽力を続けてくださることは非常に有難く、貴重な存在と存じます。

刀剣は古来より武器として鍛刀されるとともに、神器としても用いられ、皇室の三種の神器の一品として神聖なものと尊ばれてまいりました。現在も世界に誇れる日本を代表する黒鉄の美術工芸品として尊重に取り扱われております。

われわれ研師は、先祖の代よりこのように尊ばれ大切に守り伝えられている文化財保護に携わらせていただいております。このことは大変有難く名誉であるとともに、その重責も担っております。

「十年一剣磨」これは当家に伝わる言葉です。十年修業をして初めて一人前の研師として御用が務められる。創刊十周年を糧に、御紙のこれからますますの飛躍ご発展を心よりお祈り申し上げます。

美術刀剣外装技術保存会
会長　**中田 育男**

全国刀剣商業協同組合の『刀剣界』が創刊十周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。また、平素より美術刀剣外装技術保存会へのご支援・ご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

十周年の節目を迎えられましたことは、深海理事長をはじめ、歴代の役員や会員の皆さまのご努力の賜物と存じます。心よりお祝いを申し上げます。

刀剣業界を取り巻く環境は激変しており、業界内への情報提供や刀剣評価鑑定士の普及活動など、『刀剣界』の役割は一層重要となっています。

「刀剣女子」に代表される、いわゆる刀剣ブームや、インターネットなどを通じて、日本刀の素晴らしさが広く世界中に認められている現代は、新たに高度な情報発信が求められる時代になっています。

新時代を迎え、『刀剣界』が今後二十周年、三十周年と、ますますご発展されることを心よりお祈り申し上げます。

『刀剣界』10年の歩み

■平成23年・2011

〈創刊号〉東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます（綱取譲二）／第24回通常総会／意義深い『組合だより』復刊（深海信彦）／『組合だより』連載開始／『刀剣商リレー訪問』連載開始／『職方紹介』連載開始／『ブック・レビュー』連載開始／『催事情報』連載開始／『イベント・リポート』連載開始

〈第2号〉真のチャリティー（深海）／組合員になるには（服部暁治）／鑑定書について考える（川島貴敏）／『私が出会った珍品・逸品』連載開始／『刀と法律』（朝倉忠史）連載開始

■平成24年・2012

〈第3号〉さらなる一歩を（深海）／大刀剣市２０１１／『全刀商の活動紹介』連載開始／『若者広場』連載開始

〈第4号〉『消費税』の講習会を開催（松本義行）／象牙などの加工品の取り扱いにご注意（嶋田伸夫）

〈第5号〉組合メンバーズカードの意義を再確認する（清水儀孝）／日本美術刀剣保存協会、公益財団法人に認定される（伊波賢二）／『風向計』（深海）連載開始／『一葉の記憶・刀剣界昔話』（齋藤隆久）連載開始

〈第6号〉第25回通常総会／日刀保と刀文協が会談（服部）／登録証の内容変更に簡素で迅速な手続きを望む（嶋田）

〈第7号〉大刀剣市２０１２の開催迫る（朝倉）／大刀剣市の保険システム（服部）

〈第8号〉『大刀剣市』と『明美ちゃん基金』（持田眞宏）／押し買いトラブル防止の新法公布・特定商取引法改正（伊波）／伝統工芸展で文科大臣賞を受賞・宮薗士朗さんに聞く（大平将広）

■平成25年・2013

〈第9号〉第25回大刀剣市を顧みて（生野正）／創立から25年＋αを振り返る（服部）

〈第10号〉『登録証』の現状と課題（持田）／訪問購入にクーリングオフが適用。違反者は行政処分も（伊波）／組合交換会の買い高制限を変更（服部）／『コレクター紹介』連載開始／『ふるさと自慢』連載開始

〈第11号〉組合加入受付期間の変更と天刀剣市出店資格についての新たな取り決めについて（服部）／刀剣類輸出後の登録証の返却について（眞賀吉也）／新作鐔が盗難被害／『学校図書館元気プロジェクト』に寄付

〈第12号〉第26回通常総会／人間国宝の天田昭次氏が死去／特別寄稿『陽剣と陰剣』（梶谷亮治）

〈第13号〉武士道を描く映画『蠢動』を当組合が推薦（松本）

〈第14号〉消費税転嫁対策特別措置法施行へ（伊波）／『やさしい刀』を活用しましょう（眞賀）／『海外通信』連載開始／特別寄稿 エヴァンゲリヲンから戦国アバンギャルドへ（内藤直子）

■平成26年・2014

〈第15号〉第26回大刀剣市／ポーランド訪問記（阿部一紀）特別寄稿 お守り刀展覧会の企画から文部科学大臣賞等の交付まで（三上貞直）

〈第16号〉東京都銃砲刀剣類登録審査会の手続きが変更に（生野）／特別寄稿『わが国初の私立美術館１００年の伝統を未来へ』（三島知美）／『趣味のうんちく』連載開始

〈第17号〉消費増税とその対応Q&A（松本）／発見届の手順にご注意を（嶋田）

〈第18号〉銃砲刀剣類登録審査会で何が変わったか（大平）／第27回通常総会／特別報告『エヴァンゲリヲンと日本刀パリ展』（月山貞伸）／映画『天心』松村克弥監督に聴く／『博物館・美術館訪問』連載開始

〈第19号〉本阿彌光洲氏が人間国宝に（伊波・服部・持田）

〈第20号〉刀剣博物館が両国公会堂跡地へ新築移転／初の大刀剣市出店者説明会開く（持田）／特別寄稿『１５０年ぶりに姿を現した名物島津正宗』（末兼俊彦）／『話題の剣人』連載開始／モスクワにて初の古式鍛錬実演（嶋田）／特別寄稿『天下三名槍の一つ、本多忠勝愛用の蜻蛉切がお目見え』（志田理子）

■平成27年・2015

〈第21号〉第27回大刀剣市／新春特別インタビュー『業界現役最長老・小澤正晴さん（80歳）に聴く』／『生誕２００年記念清麿展』記念碑除幕式挙行される（朝倉）／特別寄稿『ものふの美と心 八代城主・松井家の刀剣と刀装具』（石原浩）

〈第22号〉さらに充実した大刀剣市のために（嶋田）／全美連・文化芸術立国の実現に向けて（伊波）／所在不明の国宝・重文１８０件に

〈第23号〉待たれる新刀剣博物館のオープン（嶋田）／『旅のつれづれに』連載開始／『ジョーちゃんの健脚商売』（綱取譲二）連載開始

〈第24号〉第28回通常総会／特別寄稿『人と人とを繋ぐ刀』（ヤツェク・カジミエロフスキ）

〈第25号〉日刀保と当組合が意見交換（嶋田）

〈第26号〉大刀剣市２０１５事前説明会開く（清水）／東日本豪雨被災地からの報告と御礼（赤荻稔）／『随想』日本刀との出会い』（ヒューズ・ロバート）

■平成28年・2016

〈第27号〉第28回大刀剣市

〈第28号〉全美連シンポジウム『文化省創設への道筋』（伊波）／『中小企業と組合』が取材に来訪（嶋田）／『登録証問題を考える』連載開始

〈第29号〉春日大社所蔵黒韋威胴丸が国宝に（綱取）／特別寄稿『高倉健さんと刀匠』（塩野米松）

〈第30号〉第29回通常総会／熊本地震災害義援金・被災地支援活動の報告（猿田慎男）／『刀剣評価鑑定士』検定事業について（松本）

〈第31号〉新刀剣博物館の地鎮祭を挙行（生野）

〈第32号〉特別展『真田丸』と『おんな城主直虎』の時代の刀に寄せて（持田）／大刀剣市２０１６事前説明会開く（赤荻）

■平成29年・2017

〈第33号〉第29回大刀剣市／刀剣類の『所有者変更届』その狙いと変遷（眞賀）

〈第34号〉刀剣評価鑑定士は新年度に立ち上げ（松本）／日刀保・柴原事務理事に聴く（嶋田）／『刀剣の故地を往く』連載開始

〈第35号〉『刀剣評価鑑定士』早わかりQ&A／輸出刀剣の登録証の返納義務について（土肥富康）

〈第36号〉『種の保存法』改正案が国会を通過（伊波）／第29回通常総会／文化芸術基本法が成立、次は文化省の創設を（清水）／『刀剣評価鑑定士試験問題例』連載開始

〈第37号〉警察庁安全企画課担当官が組合を来訪（服部）／古物営業法の規定に基づくホームページへの表示について（佐藤均）／『ふるさと偉人伝』連載開始／『資料発掘』連載開始

〈第38号〉日刀保が移転、新築成った刀剣博物館を訪ねる（服部・清水・嶋田）／巡回特別展『鐔の華―光村コレクションの刀装具』

■平成30年・2018

〈第39号〉第30回大刀剣市／九州北部豪雨被災地をお見舞い（佐藤）

〈第40号〉待望の新刀剣博物館がオープン、記念式典を開催（生野）／『刀剣評価鑑定士』認定事業の開始に当たって（清水）／偽造刀剣・鑑定書にご注意

〈第41号〉特別交換会と懇親会を開催（嶋田）／『刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟』が発足／『刀剣評価鑑定士』紙上模擬試験／新設される消費税軽減税率制度について（伊波）／銃砲刀剣類の所有者変更届はなぜ必要か（眞賀）

〈第42号〉刀剣で30年ぶりに重要文化財が誕生（瀬下明）／第31回通常総会

〈第43号〉高山一之氏が選定保存技術保持者に／大刀剣市事前説明会を開催（生野）／特別寄稿『筑前左文字の名刀』に寄せて（高橋哲也）／特別寄稿『長曽祢虎徹―新刀随一の匠』に寄せて（古幡昇子）

〈第44号〉酒井忠久日保会長に抱負を聞く／『明治１５０年―明治時代から平成時代の刀匠』展に寄せて（眞賀）

■平成31年・令和元年・2019

〈第45号〉第31回大刀剣市／『平成の名刀・名工展』開催決まる（伊波）／改正古物営業法４つのポイント（清水）／

〈第46号〉『刀剣評価鑑定士』試験日程決まる／第２回特別交換会を開催（赤荻）／特別座談会『未来のわれらの大刀剣市』

〈第47号〉『刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟』山田宏事務局長に聞く（嶋田）／『刀剣評価鑑定士』40名が誕生／『ある刀屋の履歴書』（飯田慶久）連載開始／『甲冑の話題』（一般社団法人日本甲冑武具研究保存会）連載開始

〈第48号〉『平成の名刀・名工展』が開幕／第32回通常総会・臨時総会／『現代刀職展』『日本刀の匠たち』開催／『質問箱』（眞賀）連載開始

〈第49号〉刀剣組合の底力（深海）／大刀剣市事前説明会を開催（飯田慶雄）

〈第50号〉『刀剣評価鑑定士』認定試験問題の監修を警察庁に要請／大刀剣市事前説明会を開催

■令和2年・2020

〈第51号〉第32回大刀剣市／日本刀文化振興協会が設立10周年記念祝賀会を開催／『歴史探訪』連載開始

〈第52号〉『刀剣評価鑑定士』令和2年度も認定試験を実施

〈第53号〉この苦境に打ち克つ（深海）／『やさしい刀』の思い出（綱取）

〈第54号〉長期戦に対応する『新しい日常』（伊波）／第33回通常総会を紙面による決議で開催（生野）

〈第55号〉家賃支援給付金・持続化給付金の受給について（生野）／大刀剣市の開催中止について／当職界の喫緊の課題はこれだ！

〈第56号〉古物営業法に基づく盗難品の取り扱いについて（飯田慶雄）／『折々の古都』（石井理子）連載開始

■令和3年・2021

〈第57号〉相互扶助の精神に立ち返り、堅実な運営に徹しよう（深海）

〈第58号〉組合活動の現状と当面の交換会運営について

〈第59号〉刀剣類の評価査定と買い入れに応じます（嶋田）／象牙製品等の輸出入防止の徹底を（伊波）

令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀　剣　界　第60号

『刀剣界』創刊10周年を祝します

刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟

	議連役職	氏　名	事務所・部屋番号	電話番号
衆議院	幹事長	逢沢　一郎	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　505	03-3581-5111
	共同代表世話人	甘利　明	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　514	03-3581-5111
	副幹事長	奥野　信亮	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　1001	03-3581-5111
	幹事	神田　憲次	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　1124	03-3581-5111
	副幹事長	北村　誠吾	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　714	03-3581-5111
	名誉顧問	高村　正彦	〒100-8910　東京都千代田区永田町1-11-23　自由民主党憲法改正推進本部　最高顧問	03-3581-6211
	幹事	高村　正大	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　701	03-3581-5111
	副幹事長	後藤　茂之	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　704	03-3581-5111
	副幹事長	櫻田　義孝	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　1117	03-3581-5111
	副幹事長	新藤　義孝	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　810	03-3581-5111
	共同代表	竹下　亘	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　901	03-3581-5111
		辻　清人	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　522	03-3581-5111
	事務局次長	長尾　敬	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　1102	03-3581-5111
	副幹事長	西村　明宏	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　324	03-3581-5111
	副幹事長	平井　卓也	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　1024	03-3581-5111
	幹事	藤井　比早之	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　615	03-3581-5111
		福田　達夫	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　1103	03-3581-5111
	幹事	古川　康	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　813	03-3581-5111
	共同代表	細田　博之	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　513	03-3581-5111
		堀内　詔子	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　407	03-3581-5111
		三ッ林　裕巳	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　522	03-3581-5111
	幹事	武藤　容治	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-2　衆議院第二議員会館　1212	03-3581-5111
	幹事	山田　賢司	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　617	03-3581-5111
	事務局次長	和田　義明	〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1　衆議院第一議員会館　410	03-3581-5111
参議院	幹事	青木　一彦	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　814	03-3581-3111
	幹事	青山　繁晴	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　1215	03-3581-3111
	幹事	小川　克巳	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　405	03-3581-3111
		北村　経夫	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　1109	03-3581-3111
	幹事	三浦　靖	〒100-8982　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　811	03-3581-3111
	事務局次長	三宅　伸吾	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　604	03-3581-3111
	副幹事長	山谷　えり子	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　1107	03-3581-3111
	事務局長	山田　宏	〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館　1205	03-3581-3111

衆議院議員 **逢沢　一郎**（あいさわ　いちろう）

選挙区：岡山県第1区
当選回数：11回
生年月日：昭和29年6月10日
現在の主な役職：衆議院議員総会 副会長
＜経歴＞党 一億総活躍推進本部長／衆議院 議院運営委員長／党 選挙制度調査会長／党 政治制度改革実行本部長／党 SC 内閣総理大臣首席補佐官／党 国会対策委員長／衆議院 予算委員長／党 幹事長代理／外務副大臣／通商産業政務次官

衆議院議員 **甘利　明**（あまり　あきら）

選挙区：神奈川県第13区
当選回数：12回
生年月日：昭和24年8月27日
＜経歴＞党 選挙対策委員長／内閣府特命担当大臣(経済財政改革)・経済再生担当／党 政務調査会長／党 広報本部長／行政改革・規制改革・公務員制度改革担当大臣／経済産業大臣／労働大臣

衆議院議員 **奥野　信亮**（おくの　しんすけ）

選出エリア：近畿ブロック
当選回数：5回
生年月日：昭和19年3月5日
現在の主な役職：法務部会長
＜経歴＞総務副大臣／政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会 理事／党 団体総局次長／党 奈良県支部連合会会長／奈良県土地改良事業団体連合会会長／党副幹事長／法務委員長／法務副大臣／㈱バンテック代表取締役社長兼CEO／日産自動車㈱取締役

衆議院議員 **神田　憲次**（かんだ　けんじ）

選挙区：愛知県第5区
選出エリア：東海ブロック
当選回数：3回
生年月日：昭和38年2月19日
＜経歴＞内閣府大臣政務官／党 財務・金融・証券関係団体委員長／党 財務金融部会長代理／衆 決算行政監視委員会理事／衆 財政金融委員会委員／衆 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員／衆 科学技術・イノベーション推進特別委員会委員／党 国会対策委員／党 組織運動本部財政・金融・証券関係団体委員会副委員長／党 超伝導リニア鉄道に関する特別委員会事務局次長／神田憲次税理士事務所開業／中京大学大学院、愛知学院大学大学院修了

衆議院議員 **北村　誠吾**（きたむら　せいご）

選挙区：長崎県第4区
当選回数：7回
生年月日：昭和22年1月29日
＜経歴＞内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革、まち・ひと・しごと創生担当)／党 総務会副会長／党 整備新幹線等鉄道調査会副会長／党 副幹事長／衆議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会 筆頭理事／衆議院 原子力問題調査特別委員会 委員／衆議院 沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長／衆議院 安全保障委員会 委員長／防衛庁長官政務官／防衛副大臣／佐世保市議会議員(1期)／長崎県議会議員(4期)

高村　正彦（こうむら　まさひこ）

当選回数：12回
生年月日：昭和17年3月15日
＜経歴＞昭和43年　弁護士／53年　徳山大学理事／45年　衆議院議員／62年　防衛政務次官／平成元年　自民党国会対策副委員長／元年　大蔵政務次官／3年　自民党全国組織委員会副委員長／3年　衆議院農林水産委員長／5年　自民党副幹事長／6年　経済企画庁長官／8年　外務政務次官／10年　外務大臣／11年　自民党国際局長／12年　法務大臣／19年　防衛大臣／19年　外務大臣／24年　自民党副総裁／24年　兼自民党外交再生戦略会議議長／28年　兼自民党党・政治制度改革実行本部長／28年　自民党憲法改正推進本部最高顧問

衆議院議員 **高村　正大**（こうむら　まさひろ）

選挙区：山口県第1区
当選回数：1回
生年月日：昭和45年11月14日
＜経歴＞国務大臣 経済企画庁長官 秘書官／株式会社電通 入社／外務大臣 秘書官／高村正彦 秘書

衆議院議員 **後藤　茂之**（ごとう　しげゆき）

選挙区：長野県第4区
当選回数：6回
生年月日：昭和30年12月9日
＜経歴＞党 政務調査副会長／党 報道局長／党 組織運動本部副本部長／法務副大臣／党 政調副会長兼務局長／党 行政改革推進本部事務局長／党 厚生労働部会長／党 税調幹事／国土交通大臣政務官

衆議院議員 **櫻田　義孝**（さくらだ　よしたか）

選挙区：千葉県第8区
当選回数：7回
生年月日：昭和24年12月20日
現在の主な役職：組織運動本部長代理
＜経歴＞党 団体総局長／東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣／党 教育再生実行本部長／党 行政改革推進本部長／党 副幹事長／文部科学副大臣／党 千葉県支部連合会会長／衆議院 経済産業委員会筆頭理事／衆議院 厚生労働委員長／内閣府副大臣(経済財政政策・金融担当)／経済産業大臣政務官／外務大臣政務官

衆議院議員 **新藤　義孝**（しんどう　よしたか）

選挙区：埼玉県第2区
当選回数：7回
生年月日：昭和33年1月20日
現在の主な役職：政務調査会長代理
＜経歴＞政務調査会長代理／裁判官訴追委員会 委員長／衆議院憲法審査会 与党筆頭幹事／憲法改正推進本部 事務総長／新型コロナウイルス感染症対策本部 本部長代理／領土に関する特別委員会 委員長／安全保障と土地法制特命委員会 委員長／G空間社会実装委員会 委員長／総務大臣・国家戦略特区担当大臣(第2次安倍内閣)／経済産業副大臣／外務大臣政務官・総務大臣政務官／衆議院決算行政監視委員会 委員長／ネットサポーターズクラブ(J-NSC) 初代代表／日本の領土を守るため行動する議員連盟 会長／硫黄島問題懇話会 幹事長

衆議院議員 **竹下　亘**（たけした　わたる）

選挙区：島根県第2区
当選回数：7回
生年月日：昭和21年11月3日
＜経歴＞党 総務会長／党 国会対策委員長／復興大臣／党 組織運動本部長(2期)／財務副大臣／衆議院 環境委員会理事／竹下登秘書／ NHK 記者

衆議院議員 **辻　清人**（つじ　きよと）

選挙区：東京都第2区
当選回数：3回
生年月日：昭和54年9月7日
＜経歴＞外務大臣政務官／党 外交部会長代理／党 情報通信関係団体委員会委員長／党 青年局次長(国際副部長)／米シンクタンク研究員(米戦略国際問題研究所 日本部 研究員)／株式会社リクルート／ TOKYO 自民党政経塾7期生

衆議院議員 **長尾　敬**（ながお　たかし）

選挙区：大阪府第14区
当選回数：3回
生年月日：昭和37年11月29日
現在の主な役職：副幹事長
＜経歴＞内閣府大臣政務官／党 厚生労働部会・外交部会 各副部会長／党 外交部会長代理／党 労働関係団体副委員長／衆議院 外務委員会理事／衆議院 厚生労働委員会委員／衆議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員／衆議院 政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会委員／党 厚生労働部会副部会長／党 内閣部会副部会長／党 国防部会副部会長／党 厚生関係団体副委員長／明治生命保険相互会社

衆議院議員 **西村　明宏**（にしむら　あきひろ）

選挙区：宮城県第3区
当選回数：5回
生年月日：昭和35年7月16日
現在の主な役職：政務調査会 副会長
＜経歴＞党 政務調査会副会長兼事務局長／党 選挙対策委員会筆頭副委員長／内閣官房副長官／党 宮城県支部連合会会長／衆議院 東日本大震災復興特別委員会筆頭理事(3期)／衆議院 経済産業委員会理事(2期)／党 経済産業部会部会長／党 地方組織議員総局局長／衆議院 国土交通委員会委員長／党 団体総局局長／国土交通・内閣府・復興副大臣(2期)／党 総合交通政策特命委員会委員長／党 総務会総務／党 国土交通部会部会長／内閣府大臣政務官(2期)／大蔵大臣秘書官

衆議院議員 **平井　卓也**（ひらい　たくや）

選挙区：香川県第1区
当選回数：7回
生年月日：昭和33年1月25日
現在の主な役職:デジタル改革担当大臣／情報通信技術(IT) 政策担当大臣／内閣府特命担当大臣(マイナンバー制度)
＜経歴＞デジタル改革担当大臣／情報通信技術(IT) 政策担当大臣／内閣府特命担当大臣(マイナンバー制度)／内閣府特命担当大臣(クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策)／党 広報本部長／党 情報調査局長／党 IT 戦略特命委員長／党 広報本部長代理／ J-NSC(自民党ネットサポーターズクラブ) 代表／衆議院 内閣常任委員長／党 ネットメディア局長／党 SC総務大臣／党 政務調査会副会長／国土交通副大臣／党 経済産業部会長

衆議院議員 **藤井　比早之**（ふじい　ひさゆき）

選挙区：兵庫県第4区
当選回数：3回
生年月日：昭和46年9月11日
現在の主な役職：内閣府 副大臣
＜経歴＞内閣府副大臣／国土交通大臣政務官／衆議院 財務金融委員会 理事／衆議院 予算委員会 委員／衆議院 憲法審査会委員／衆議院 農林水産委員会 委員／衆議院 国土交通委員会 委員／衆議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会 理事／衆議院 科学技術・イノベーション特別委員会 理事／衆議院 政治倫理・公職選挙法改正特別委員会 委員／党 国会対策委員会 副委員長／党 農林部会 部会長代理／党 経済産業部会 副部会長／党 国土交通部会 副部会長／党 青年局次長／党 情報通信戦略調査会 事務局次長／党 情報・通信関係団体委員会 副委員長／党 選挙制度調査会 事務局次長／党 国家戦略本部 主査／党 総務部会 副部会長／党 国際局次長／党 広報戦略局次長／彦根市副市長、総務省

衆議院議員 **福田　達夫**（ふくだ　たつお）

選挙区：群馬県第4区
当選回数：3回
生年月日：昭和42年3月5日
＜経歴＞国会対策委員会 副委員長／衆議院 議院運営委員会 理事／農林・食料戦略調査会農産物輸出促進対策委員会 委員長／地方創生実行統合本部 副幹事長／中小企業・小規模事業者政策調査会 事務局長代行／安全保障調査会 事務局次長／安全保障調査会 ミサイル防衛に関する検討チーム 事務局次長／経済成長戦略本部 事務局次長／経済成長戦略本部 新経済指標検討PT 事務局長／競争政策調査会 事務局長代理／雇用問題調査会 幹事／国際局次長／防衛大臣政務官・内閣府大臣政務官／働き方改革推進に向けた合同WT 事務局長／農林水産関係団体委員会 委員長

衆議院議員 **古川　康**（ふるかわ　やすし）

選挙区：佐賀県第2区
選出エリア：九州ブロック
当選回数：2回
生年月日：昭和33年7月15日
現在の主な役職：総務大臣政務官
＜経歴＞総務大臣政務官　／衆議院総務委員会委員／元自民党女性局次長／元自民党地方行政調査会事務局長／元自民党棚田支援に関するPT事務局長／元自民党過疎対策特別委員会事務局次長／元自民党農林部会副部会長／元自民党障害児者問題調査会 発達障害者の支援の在り方に関するPT座長／元自民党情報通信戦略調査会事務局次長／元自民党障害児者問題調査会事務局次長／元佐賀県知事／元自治大臣秘書官／元自治省職員／東京大学法学部卒業

衆議院議員 **細田　博之**（ほそだ　ひろゆき）

選挙区：島根県第1区
当選回数：10回
生年月日：昭和19年4月5日
＜経歴＞衆議院 憲法審査会 会長／党 郵政事業に関する特命委員会 委員長／党 税制調査会 副会長／党 島根県支部連合会 会長／党 憲法改正推進本部長／衆議院 政治倫理審査会 会長／党 行政改革推進本部長／党 総務会長(2期)／党 幹事長代行／党 幹事長／党 国会対策委員長／内閣官房長官・男女共同参画担当大臣／沖縄北方・科学技術政策・情報通信技術担当大臣

衆議院議員 **堀内　詔子**（ほりうち　のりこ）

選挙区：山梨県第2区
当選回数：3回
生年月日：昭和40年10月28日
現在の主な役職：環境副大臣／内閣府 副大臣
＜経歴＞衆議院 予算委員会理事／党 組織本部 厚生関係団体委員長／党 政務調査会環境部会 部会長代理／党 女性局長代理／美しい富士山を創り守る議員の会(通称：富士山議連)事務局長／党 超伝導リニア鉄道に関する特別委員会　事務局長代理／党 山梨県支部連合会女性局長／党 山梨県支部連合会最高顧問／厚生労働大臣政務官／党 総務／衆議院 環境委員会理事

衆議院議員 **三ッ林　裕巳**（みつばやし　ひろみ）

選挙区：埼玉県第14区
当選回数：3回
生年月日：昭和30年9月7日
現在の主な役職：内閣府 副大臣
＜経歴＞厚生労働大臣政務官／日本歯科大学附属病院副院長／日本歯科大学生命歯学部内科学講座教授／日本大学医学部臨床教授／医学博士(内科学)

衆議院議員 **武藤　容治**（むとう　ようじ）

選挙区：岐阜県第3区
当選回数：4回
生年月日：昭和30年10月18日
現在の主な役職：副幹事長
＜経歴＞党 経済産業部会長／衆議院 農林水産委員長／経済産業副大臣・内閣府副大臣／党 政務調査会副会長／外務副大臣／総務大臣政務官

衆議院議員 **山田　賢司**（やまだ　けんじ）

選挙区：兵庫県第7区
当選回数：3回
生年月日：昭和41年4月20日
＜経歴＞外務大臣政務官／芦屋キワニスクラブ会長／ソシエテジェネラル信託銀行　ディレクター／通商産業省(出向)／三井住友銀行　部長代理

衆議院議員 **和田　義明**（わだ　よしあき）

選挙区：北海道第5区
当選回数：2回
生年月日：昭和46年10月10日
現在の主な役職：内閣府大臣政務官
＜経歴＞党 外交部会　副部会長／党 商工・中小企業関係団体委員会　副委員長／党 遊説局　局長代理／党 日本well-being計画推進プロジェクトチーム　事務局長／党 食育調査会　事務局次長／党 治安・テロ対策調査会　事務局次長／党 デジタル社会推進特別委員会　事務局次長／党 農産物輸出促進対策委員会　事務局次長／党 虐待等に関する特命委員会　幹事／与党 整備新幹線建設推進プロジェクトチーム／衆議院 経済産業委員会　委員／衆議院 法務委員会　委員／衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会　委員／自由民主党北海道第5選挙区支部長／三菱商事株式会社

参議院議員 **青木　一彦**（あおき　かずひこ）

選挙区：鳥取県・島根県
当選回数：2回(H28)
生年月日：昭和36年3月25日
現在の主な役職：参議院国会対策委員長代理
＜経歴＞国土交通副大臣／参議院 国対委員長代理／国土交通大臣政務官／参議院議員秘書

参議院議員 **青山　繁晴**（あおやま　しげはる）

選出エリア：比例代表
当選回数：1回(H28)
生年月日：昭和27年7月25日
現在の主な役職　経済産業部会長代理
＜経歴＞参議院 経産委 理事／参議院 ODA特委 理事／参議院 予算委／党 経済産業部会長代理／党 女性局次長／党 ネットメディア局次長／(株)独立総合研究所社長／三菱総合研究所／共同通信社／早大

参議院議員 **小川　克巳**（おがわ　かつみ）

選出エリア：比例代表
当選回数：1回(H28)
生年月日：昭和26年8月31日
＜経歴＞参議院 厚生労働委員会 委員長／参議院 政府開発援助等に関する特別委員会／国民生活・経済に関する調査会／党 組織運動本部団体総局 厚生関係団体委員会　副委員長／党 広報本部報道局　次長／党 社会保障制度調査会医療委員会 医師の働き方及びタスクシェア・タスクシフトのあり方に関するプロジェクトチーム　委員／参議院 自民党 政策審議会 副会長／党　厚生労働部会　副部会長／公益社団法人日本理学療法士協会 理事／一般社団法人日本ユマニチュード学会 理事

参議院議員 **北村　経夫**（きたむら　つねお）

選出エリア：比例代表
当選回数：2回(R1)
生年月日：昭和30年1月5日
現在の主な役職：広報戦略局長
＜経歴＞参議院 外交防衛委員長／党 安全保障関係団体副委員長／経済産業大臣政務官／党 副幹事長／党 選挙対策副委員長／党 環境関係団体委員長／党 農林副部会長／党 国防副部会長／産経新聞社 執行役員、政治部長、編集長／米ペンシルベニア大学大学院修士課程修了／中央大学卒業

参議院議員 **三浦　靖**（みうら　やすし）

選出エリア：比例代表
当選回数：1回(R1)（衆1回）
生年月日：昭和48年4月9日
＜経歴＞党青年局次長／自由民主党島根県支部連合会青年局長／大田市議会議員（3期）／衆議院議員秘書

参議院議員 **三宅　伸吾**（みやけ　しんご）

選挙区：香川県
当選回数：2回(R1)
生年月日：昭和36年11月24日
現在の主な役職：新聞出版局長／外交部会長代理
＜経歴＞参議院 外交防衛委員会 理事／参議院 予算委員会 理事／参議院 外交防衛委員会 委員長／党 外交部会 副部会長／参議院 財政金融委員会 理事／参議院 政府開発援助等に関する特別委員会 理事／参議院 環太平洋パートナーシップ協定等に関する特別委員会 理事／党 政務調査会 副会長／党 参議院政策審議会 副会長／党 組織運動本部財政・金融・証券関係団体委員会 副委員長／日本経済新聞社 編集委員／東京大学 大学院 法学政治学研究科修了(修士)／米コロンビア大学留学／日本経済新聞社 記者／早稲田大学政治学科卒業

参議院議員 **山谷 えり子**（やまたに）

選出エリア：比例代表
当選回数：3回(H28)（衆1回）
生年月日：昭和25年9月19日
現在の主な役職：北朝鮮による拉致問題対策本部長
＜経歴＞党 党紀委員会委員長／参議院 政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会委員長／参議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長／党 文化伝統調査会長／党 北朝鮮による拉致問題対策本部長／党 教育再生実行本部長代行／国務大臣／国家公安委員会委員長・拉致問題担当大臣・海洋政策・領土問題担当大臣・／国土強靭化担当大臣・内閣府特命担当大臣(防災)／参議院 自民党政策審議会長／参議院 政府開発援助等に関する特別委員長／領土議連会長／参議院 環境委員長／党 女性局長／内閣総理大臣補佐官(教育再生担当)

参議院議員 **山田　宏**（やまだ　ひろし）

選出エリア：比例代表
当選回数：1回(H28)（衆2回）
生年月日：昭和33年1月8日
現在の主な役職：広報本部長代理／国防部会長代理
＜経歴＞参議院 副幹事長／党 国防部会長代理／党 組織運動本部安全保障関係団体委員会委員長／防衛大臣政務官・内閣府大臣政務官／党 外交部会副部会長／党 安全保障関係団体副委員長／党 地方組織・議員総局次長／前衆議院議員／前杉並区長

令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀　剣　界　第60号

第34回通常総会を開催

深海理事長ほか新役員選出される

全国刀剣商業協同組合は去る五月十七日、コロナ禍に伴う緊急事態宣言が発令される中、東京美術倶楽部において第34回通常総会を開催しました。

総組合員数一六五名中、出席者五六名、委任状提出者八六名、合計一四二名で過半数に達し、定足数を満たしているので本日の通常総会は成立する旨が司会者の嶋田伸夫より告げられた。

初めに、深海信彦理事長より挨拶があり、日常の組合活動へのご協力やご理解に対して謝辞が述べられた。

続いて司会者は議長の選出を議場に諮ったところ、「司会者一任」の発声があり、定款に従って深海理事長を議長に選出し、深海議長は総会の開会を宣言して直ちに議案の審議に入った。

〈第一号議案〉令和二年度事業報告承認の件・令和二年度会計報告承認の件・監査報告

議長は令和二年度の事業報告を清水儀孝専務理事に求めたので、清水専務理事は別紙事業報告の概要を述べ、その内容について説明した。続いて議長は伊波賢一副理事長に、令和二年度決算報告書に基づき説明報告させた。その後、赤荻稔監事より、令和二年度の決算報告書が適正正確であった旨の報告があり、これを議場に諮ったところ満場一致をもって異議なく承認された。

第34回通常総会の審議風景

〈第二号議案〉令和三年度事業計画（案）決定の件

議長は清水専務理事に別紙計画案を説明させた後、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく原案通り可決した。

〈第三号議案〉令和三年度収支予算（案）決定の件

議長は伊波副理事長に別紙予算案を説明させた後、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく原案通り可決した。

〈第四号議案〉役員報酬の件

〈第五号議案〉経費の賦課及び徴収に関する件

〈第六号議案〉令和三年度借入金残高の最高限度に関する件

〈第七号議案〉一組合員に対する貸付け、または一組合員の為にする債務保証の残高の最高限度に関する件

第四号議案から第七号議案まで、議長は嶋田伸夫常務理事に別紙原案を説明させた後、その承認を議場に諮ったところ、満場一致で異議なく原案通り可決した。

〈第九号議案〉その他

役員改選に長時間を要するため、第八号議案に先行して第九号議案を審議することとした。

議場出席者からの意見や質問はなかったが、議長は猿田慎男氏から理事長宛に質問主意書が提出されていることを報告した。当人は四月十六日の理事会において、理事として総会議案を承認していたが、一般の組合員に対して、よりわかりやすい説明を求めて提出したものと解釈し、この質問主意書に対してあえて回答することとした。それぞれの担当理事が総会出席者に懇切丁寧に説明した。

〈第八号議案〉役員改選

深海議長の指名により、第八号議案の議長を引き継いだ嶋田伸夫は、今期も役員選出は定款第五章第二十五条・第三十一条に従って選挙による旨を説明した。さらに、事前に案内の通り、理事会決議の選挙方法により不在者投票・選挙委任状七三通は選挙管理委員により規定通りに適正に処理すること、ならびに出席者による無記名投票の際の注意事項について説明し、次いで選挙管理委員を任命した。

その後、選挙管理委員の指示に従って選挙が行われ、選挙管理委員は直ちに開票と集計の作業に入った。投票の結果は、選挙管理委員長笠原泰明により次の通り、議場において発表された（五十音順）。

赤荻稔・飯田慶雄・伊波賢一・大平岳子・佐藤均・嶋田伸夫・清水儀孝・生野正・瀬下明・綱取譲一・土肥豊久・服部暁治・深海信彦・松本義行・冥賀吉也・持田具宏・吉井唯夫

選出された一七名の者は、全員が理事の就任を受諾した。新理事決定後、議長は理事会において無記名投票による新理事長選出の選挙を行う旨を議場に説明し、即時別室にて理事会が開催された。そこで深海信彦が新理事長に選出され、選挙管理委員長はこの結果を議場に発表し、深海信彦はこれを受諾した。

以上をもって総会の議事は滞りなく審議を終了したので、服部暁治が閉会の挨拶を行い、第34回通常総会を閉会した。（清水儀孝）

質問主意書に対する組合からの回答と説明

猿田慎男氏から提出された質問主意書の内容は７項目にわたっており、一部は総会の議案と直接関係ない部分もありましたが、議案の審議終了後に公開質問の形で、各関係理事が全項目に対し回答しました。紙面にも制約がありますので、その概略をお知らせします。

なお、この質問主意書以外にも、さらに細かい具体的な内容の文書が同一人より一部組合員に向けて発送されているということですが、ここでは総会に提出された７項目（質問は原文のまま）についてのみ回答し、若干を補足し、内容の要点を記します。

質問１　一般管理費として￥14,870,000 計上されているが、その中でも人件費として 950 万（給料 760 万、福利厚生・労働保険 130 万、交通費 63 万）や顧問料の 75 万が多すぎる。年間会費 352 万であることからすれば異常ではないのか。

回答　一般管理費も人件費も直近 10 年間の平均はそれぞれ 1,435 万円、704 万円で今期が突出しているわけでも、異常でもありません。勤続 23 年と９年の正職員２名の給与額（昨年実績 706 万円）は、東京都の団体職員の平均を下回ります。

逸見清行氏への税理士報酬の年額は、初代理事長在任の平成元年より 33 年間当組合の顧問を務めておられる実績からも、また一般の会社と比較しても高いものではありません。

質問２　新聞製作費用 350 万円をかけながら何故無料配布なのか。

回答　『刀剣界』新聞の有料購読者は賛助会員扱いとなっており、現在は刀職者等を含めて合計 106 名です。賛助会員は、組合活動には参加できず『刀剣界』新聞による情報収集のみです。また、交換会等に参加しない組合員は 100 名以上で、新聞だけが賦課金の拠りどころとなっています。

一般に向けては、各都道府県教育委員会や国会議員連盟、内閣府、警察庁、公益法人等に無料配布しており、組合の存在を知らしめ刀剣商の社会的地位の向上に役立てています。

なお、350 万円の内訳は取材編集費用が１回 15 万円（年６回発行 90 万円）で、編集委員は無報酬です。その他は全て印刷代金です。

質問３　事務所移転の件。年間 80 万もの管理費をかけながら、築 50 年のマンションを維持する理由は何なのか。

回答　管理費等は 73 万円ですが、質問者が移転先として挙げたことのある築 10 年の新橋のビルの管理費等合計は 240 万円で、事務所の現在の管理費は高くはありません。老朽化したとはいえ、購入時は築 20 年で、組合の所有する唯一の不動産で金融機関の信用の基にもなっています。

このマンションを守るため、多くの先人の汗が流されました。JR 山手線新大久保駅から徒歩８分は、立地が悪いと言えるでしょうか。修繕改装して周辺では目立つ白亜の建物となっており、高さ制限のある近隣では最も高い 13 階建てで、組合はその最上階にあり、近年資産価値は上昇しています。

質問４　刀剣資格認定事業。受験者全員を合格させ、数年後には更新をさせ、もっぱら資金集め事業になっているので中止または改善すべきではないか。

回答　刀剣評価鑑定士は刀剣業界には不可欠の資格制度で、簡単には合格できない多岐にわたる難しい問題内容です。検討委員会において３年以上の会議を経て、さらに警察庁をはじめとして日刀保、刀文協、甲冑会からも詳細に校閲を受けての後に、総会で承認されて成立したものです。

現在は組合員のための制度により、事業として財政に貢献するには至っていません。組合員対象に特化したこの資格制度は、問題作成から試験の実施まですべて理事や編集委員の労働奉仕によるもので、一部分でも外部委託したり労働対価を費用計上したならば、受験料、認定料、５年後の更新料を得ても収支はゼロに近くなることでしょう。

1,000 問以上に上る問題集の蓄積を活用して、一般に向けて「刀剣検定」などの形で工夫開発された時にこそ、かなりの事業収益が見込まれるはずです。

質問５　理事は、地方の組合長や全国各地の市場会主を理事として迎え、公平で開かれた理事会にすべきではないか。

回答　組合創設時には鹿児島県から北海道まで四国・東北を除く全国から理事が任命されました。しかし、理事会に出席することは少なく、無料奉仕の組合活動に参加することも物理的に無理であり、ほとんどの活動は、組合誌を発行していた編集委員が理事の仕事の代役を長年務めていました。

業界で知名度が高い全国の実力者が名を連ねると、組織の外見は立派に見えますが、組合員の利益のための実務をお願いすることは難しいことです。現在は、実際に行動可能な奉仕メンバーが理事を務め、事業活動の原動力になっています。

質問６　新入会員の入会緩和。会員数が多いほど組合にとって有益であるにもかかわらず、現行、理事２名の保証人、６か月の見習い、その後、理事会での承認、と締め付けているのは何故なのか。

回答　現在は理事２名の推薦で理事会に諮られますが、同業者として人として、適格であるのに入会を認められなかった例はかつて一度もありません。保留となった方がありましたが、その理由は、推薦人２名が入会希望者当人をよく知らなかった、書類上の不備、同業者の業務に損害を及ぼした、という例があるのみです。選挙の時の一票のために入会させようとする理事はいないはずで、組合のためになるであろう人を推薦していただいている以上、組合の理念に賛同した方の入会を歓迎するという方針は変わりません。また、交換会における与信や保証の問題も重要なウェイトを占めています。

質問７　選挙制度。ここ 10 年、理事 14 ～ 15 名の投票数が同数であり、操作されている感が否めない。「理事長一任」は廃止すべきである

回答　選挙は中小企業等組合法に則り、組合の定款、規約に基づいて行われており、選挙管理には立会人、開票人、投票集計人など 15 名の委員が委嘱されています。

票の操作などということは不可能であるばかりか、選挙に携わる人の名誉にかかわる言葉は慎むべきです。選挙管理委員長より質問者に対し、逆にどのような不正行為が行われているのか聞きたいとの質問がありましたが、回答は得られませんでした。

なお、当日その場では即答できなかったのですが、記録の残る直近３回の理事選挙の得票数は、１位がそれぞれ 101 票、76 票、107 票で、15 位が 54 票、56 票、68 票で、15 名への投票数は毎回異なり、同数とはなっておりません。

会議等における理事長あるいは個人に対する一任、委任は憲法で保障されている自由意思の尊重や個人の権利の行使です。国会や国際法上で論じられるべきものであり、一団体や法人、自治体等で成立させたり廃止できるものではありません。

以上、項目別に総会当日の回答の要点を記しました。

組合は誰のためにあるのか、よく考えていただきたいものです。現在ほど開かれた自由な組合運営は、かつて見ないところです。

理事は全員、組合の発展と向上を願い、あくまで低姿勢を貫き、自分の商売の時間を割いて組合のために働いています。理事は全員そのことこそが理事の務めと理解しております。

本件の質疑応答には長時間を要しましたが、質問者も自分のためだけではなく、多くの組合員の声を代弁したつもりで質問主意書を提出されたものと理解しております。今後も質問には謙虚に耳を傾け、対応させていただくつもりです。

なお、質問２にもありました組合機関紙『刀剣界』ですが、現状のコロナウイルスの感染状況が収束しない限り、月平均２回以上委員 10 名以上での編集会議はリスクが高く、隔月発行のペースを保つには困難となりつつあります。刀剣業界のため必ず貢献できることを信じ、10 年間１度の休刊もなく同じメンバーで新聞を発行し続けてきましたが、奉仕活動の限界が見えてきたところです。

令和3年7月15日発行（隔月刊）

刀　剣　界

第60号

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、**記事を募集しています**。ニュースや催事情報、イベント・リポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

NEWS & TOPICS

備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画が認定される

令和二年五月に施行された「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」（文化観光推進法）に基づき、備前長船刀剣博物館を拠点として、刀剣文化の魅力の紹介や積極的な情報発信、施設の機能強化、地域や民間事業者等と連携した取り組みを進める「日本刀の聖地」拠点計画が、五月二十五日に認定となった。

文化観光推進法は、文化の振興を観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的とする。

このためには、地域の観光関係事業者等と文化施設が連携を密にすることによって、来訪者が学びを深められるよう、歴史的・文化的背景やストーリー性を考慮した文化資源の魅力の解説・紹介を行うとともに、来訪者を惹き付けるよう、積極的な情報発信や交通アクセスの向上、多言語・Wi-Fi・キャッシュレスの整備を行うなど、文化施設そのものの機能強化、さらに地域一体となった取り組みが必要となる。

これまでに主務大臣（文部科学大臣および国土交通大臣）が認定した拠点計画と地域計画は、令和二年八月一〇件、同十一月一五件、三年五月一五件の計四〇計画。刀剣類を所蔵する徳川美術館・本間美術館・彦根城博物館などの認定例はあるが、日本刀そのものを中心に据えた計画は初。

今後は、これらの計画に基づく事業に対して、特別の措置等が講じられることになる。

備前長船のこれからに注目だ。

TVの話題

NHK「プロフェッショナル―仕事の流儀」
吉原刀匠の仕事ぶりを見て

五月十一日、NHK総合テレビに吉原義人刀匠が取り上げられるというので、夜十時半の開始を待った。すると、当組合の理事長である深海信彦氏が出演しているではないか。これは真面目に見なくてはと思っていたら、「鍛えてこそ、本物になる〝刀鍛冶・吉原義人〟」について書かされることになってしまいました。

吉原氏が刀一振を作る過程を、順を追って撮影しています。鍛錬・造り込み・素延べ・火造り・焼き入れと、その一つ一つの段階で貴重なコメントが発せられる。

吉原氏は二十九歳の若さで、日刀保の新作名刀展・文化庁長官賞を受賞、三十九歳で無鑑査刀匠に認定されるという異例に早い出世を遂げています。

一方、五十七歳の時に脳梗塞を患い、今も右腕にその後遺症が出ることがあるといいます。小生の大先輩で、何でもよく知っている刀剣商でさえ、その件は知らなかったとのこと。世の中にあまり知られていないことまで、テレビは明かしてしまうようです。

しかし、吉原氏にとって最も痛恨なことは、三年前に子息の義一刀匠を亡くされたことでしょう。

最年少無鑑査でもあり、「天才かどうかは知らないが、それに近い腕だった」。義人氏から天才という言葉が出るとは、父親としての無念を思わずにはいられません。

義一氏の遺児、義人氏の孫である慧（あきら）君に相鎚を打たせながら、「一緒に仕事をするだけでいいんだ、それで全てがわかるんだ」と語ります。

最後に「プロフェッショナルとは？」と問われて、「物作りを究めていい仕事をするのは当たり前だけど、それを後継者に伝えられたときこそ、プロフェッショナル」と言い、「最後の仕事は孫をきちんとした刀鍛冶にするだけ」と言い切ったのでした。

番組を見逃してしまった方は、再放送をお楽しみに。

（持田具宏）

淡々と仕事に取り組む吉原刀匠

NEWS & TOPICS

東京美術倶楽部で特別展「日本刀の美」を開催

東京美術倶楽部の四階において四月十七・十八の両日、一年ぶりとなる第四回「日本刀の美」を開催することができました。

昨年の第三回展は最初の緊急事態宣言発令により中止となり、その代替え日として秋を予定していましたが、やはり新型コロナウイルスの感染状況が思わしくなく中止を余儀なくされました。

今年に入り、主催者の銀座泰文堂・川島氏、神田真玄堂・高橋氏、長野永和堂・朝倉氏、そして銀座盛光堂の私が相集い、何度も議論を重ねました。正直なところ、直前までどのように判断したらよいか自信が持てず、試行錯誤を繰り返しましたが、何とか開催にこぎつけました。

一つの救いは、「日本刀の美」が二日間で百六十名の限定でお客さまに事前にチケットをご購入いただくシステムであったことです。もともと落ち着いた雰囲気の中で名品をご覧いただこうという趣旨で始まりましたので、第一回展より密にならない環境づくりができていました。

さらに、入り口での検温、消毒などできる限りの感染対策を行い、通常であれば昼食時には軽食やドリンクなどのサービスをさせていただいていましたが、今回の状況ではそちらも中止といたしました。

その代わりというわけではありませんが、お越しくださるお客さまに名品をご覧いただけるのがこの状況下での一番のおもてなしと考え、各店舗とも選りすぐりの名品を数多く出品されました。重要美術品から特別重要刀剣、特別重要刀装、重要刀剣、重要刀装具と、ご満足いただける名品ばかりだったと自負しております。

来年の第五回展は、今まで以上の名品をご覧いただくのはもとより、アペリティフでもご満足いただける新しい形の展示即売会を目指し、出展社一同さらなる精進を重ねていく所存です。（齋藤　恒）

お客さまの安全安心を第一とした展示会場

NEWS & TOPICS

当組合理事の吉井唯夫氏が大阪美術倶楽部の取締役に就任

大阪刀剣会代表で当組合理事の吉井唯夫氏が先般、株式会社大阪美術倶楽部の株主総会において同倶楽部取締役に選任されました。

大阪美術倶楽部の歴史は古く、明治四十三年（一九一〇）に創立されました。戦後、美術界にゆかりのある鴻池元男爵本邸を購入し、現在の美術倶楽部の社屋を構えることとなります。平成十九年には鴻池本邸を建て替え、新館を完成させ、平成二十二年には創立百周年を迎えています。

同倶楽部においては美術に関するさまざまなイベントとともに、業者間の大きな交換会なども開催されていて、大阪の美術業界の中心となっています。

大阪美術倶楽部の長い歴史の中で刀剣商から取締役が選ばれたことはなく、今回の吉井氏が初となります。これも氏の人間性と日ごろの努力の賜物であり、誠に喜ばしい限りです。

なお、吉井氏は大阪美術商協同組合の役員でもあり、前期より監事を務めておられます。これらのことは、美術業界における刀剣商の発言力を高め、地位向上にもつながっています。

また、東京美術商協同組合は六月の総会で、当組合副理事長の伊波賢一氏が専務理事に昇任し、東西の美術倶楽部に刀剣商から人材を輩出することは誇らしく、業界の発展を信じて疑いません。

（土肥富康）

NEWS & TOPICS

サザビーズのオークションで甲冑の世界最高額を更新

5月にロンドンで開催されたサザビーズのオークションにおいて、甲冑のワールドレコードが更新された。落札価格は 378,000 ポンド（1£＝155 円）。日本円で 5,800 万円となり、2009 年にニューヨークのクリスティーズ・オークションで記録されたそれまでの最高額 5,500 万円（602,500$、ドル換算ではこちらが上回る）で、12 年ぶりの快挙となった。

事前のエスティメイトは 30,000～50,000GBP で、10 倍近くの結果になったことから専門家も予想しておらず、同社によると「予想外の地域と世代の顧客らから入札された結果です。インスタグラムなどを通じた広報活動も手伝って、さまざまな方にご覧いただけたのではないかと思います」という。

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るう中、通常のライブセールではなく、インターネットで入札をするオンライン・オークションでの結果というのが特筆される。感染症拡大後は億を超える入札も珍しくなくなったといい、隔世の感を禁じ得ない。

世界の市場で日本芸術の粋を集めた甲冑武具が注目され、価値が向上していることは、わが業界にとって喜ばしく、今後も注目していきたい。

（飯田慶雄）

5,800万円の甲冑
ⓒ Sotheby's

刀剣・小道具・甲冑武具
目白 飯田高遠堂
代表取締役 飯田慶雄
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
http://www.iidakoendo.com

アオバ企画㈱
高橋一
〒130-0012
墨田区大平四-一九-二-一三〇八
TEL ○三-三六二二-二二三一
FAX ○三-三六二二-二二五一
メール aobakk@pj8.so-net.ne.jp

組合こよみ（令和３年５～６月）

５月17日　東京美術倶楽部において第34回通常総会を開催。出席者56名、委任状86名、合計142名

17日　総会終了後、第35期第１回理事会を開催。出席者、赤荻稔・飯田慶雄・伊波賢一・大平岳子・佐藤均・嶋田伸夫・清水儀孝・生野正・瀬下明・綱取譲一・土肥豊久・服部暁治・深海信彦・松本義行・冥賀吉也・持田具宏・吉井唯夫。互選により深海信彦を理事長に選出

17日　東京美術倶楽部において特別交換会を開催。参加者65名、出来高31,167,500円

25日　服部副理事長と清水専務理事が刀剣の評価査定のため来所

６月３日　深海理事長・清水専務理事・嶋田常務理事が刀剣評価査定のため（公財）日本美術刀剣保存協会を訪問

12日　東京美術倶楽部において第２回理事会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・飯田理事・大平理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・持田理事・吉井理事・大西監事・冥賀亮典監事

16日　東京美術倶楽部において第２回「大刀剣市」実行委員会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・赤荻理事・飯田理事・大平理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・持田理事・吉井理事・冥賀亮典監事・大平将広氏・土子民夫氏・有山事務局員

18日　嶋田常務理事・綱取常務理事・生野理事が刀剣査定評価のため大田区に出張

22日　飯田理事と吉井理事が刀剣査定評価のため愛知県岡崎市に出張

催事情報

■姫路市書写の里・美術工芸館

〒671-2201 兵庫県姫路市書写1223　☎079-267-0301

https://www.city.himeji.lg.jp/kougei/

夏季特別展「夏休み子どもミュージアム―鉄・刀・金工―」

播磨地域の金工から、播磨鍋や姫路明珍、矢立をはじめ、日本刀とその材料や製作に関わる職人についても紹介する、夏休みの小中学生に向けた「鉄」「刀」「金工」をテーマにした展覧会です。

第１章「姫路の金工」

地元が誇る金工芸から、「姫路明珍」の鍛えの技と、「野里鋳物師」による幻の播磨鍋、銅細工師の衣笠一門による姫路矢立などを紹介します。併せて、刀剣を題材とした能舞台「小鍛冶」（能楽師12世江崎欽次朗師監修）の映像を放映します。なお当館内各所の常設展示エリアでは、祭り屋台の錺金具や、明治時代に刀鍛冶らが転身して設立した播陽時計、奈良東大寺管長を務めた姫路出身の僧侶、清水公照が作家らと合作した茶釜などもご覧いただけます。

第２章「鍛刀の奥義」

県中部でかつて千草（宍粟市千種町）を中心に良質な鉄が生産されていたこともあり、兵庫県内では古くから刀剣が作られてきました。砂鉄や隕石などの紹介、日本刀の原料である玉鋼を得る「たたら製鉄」の工程を記した絵巻物や日本刀の製作に関わる職人のパネル展示から、鉄という素材とそれを用いた高度な鍛刀技術の奥義を探ります。

第３章「郷土の名刀」

室町時代の大名でもあった赤松政則、明石の吉長や、江戸期に活躍した姫路の手柄山一門の氏繁・正繁など、兵庫の名刀を中心に、刀剣の美に触れていただきます。加えて、鐔などの刀装具や、刀身を納める鞘などの外装にも、技術に裏打ちされた機能性と美意識が随所に宿っていることに注目します。

会期：7月3日㈯～9月5日㈰

旅のつれづれに 10 日光田母沢御用邸記念公園

コロナ禍の下で外出を制限されて久しくなります。わが家でも、しばらく旅行などの遠出からは遠ざかっています。とはいえ、店で使用しているお香は日光東照宮で買い求めているものなので、二年ぶりに行ってきました。

かつての御用邸は106の部屋からなっていた

用事を済ませたらすぐに帰る予定でしたが、駐車場で係員からたまたま日光田母沢御用邸記念公園の見学を勧められました。閉館まで二時間ほどでしたから、人出もほとんどありませんでした。

日光二荒山神社や東照宮にはしばしば参拝していますが、同じ栃木県内でありながら、ここを訪れるのは初めてでした。予備知識もないままに見学していると、係の方が近寄ってこられ、館内の主な施設を丁寧に説明してくださいました。

日光田母沢御用邸は、七千坪という広大な敷地に、赤坂離宮などに使われていた旧紀州徳川家江戸中屋敷の一部（現在の三階建て部分）を移築し、その他の建物は新築される形で、明治三十二年（一八九九）に大正天皇（当時は皇太子）のご静養地として造営されました。

昭和二十二年（一九四七）に廃止されるまでの間、三代にわたる天皇・皇太子がご利用になりました。その後は博物館や宿泊施設、研修施設として使用されましたが、栃木県が修復・整備を行い、平成十二年（二〇〇〇）に記念公園として蘇りました。

同十五年には貴重な建造物として重要文化財に指定され、十九年には「日本の歴史公園一〇〇選」にも選定されました。

散策していると、春夏秋冬それぞれの季節の変化を御座より楽しまれている大正天皇のご様子が目に浮かぶようでした。

外出の心配をしなくて済むようになったら、再訪してじっくり見学したいものです。皆さまも栃木県が誇るこの公園をぜひ訪れてみてください。

（瀬下　明）

賛助会員の近況

★宮本恒之さんが公益財団法人日本美術刀剣保存協会主催の「現代刀職展」白銀の部の無鑑査に認定されました。おめでとうございます。ご本人からメッセージが届きましたので、ご紹介します。

自分の刀に拵を作りたいというのがきっかけで、平成八年から日刀保主催の刀職技能訓練講習会、外装技術研修会に参加してきました。講師の先生方のご指導を頂き、おかげさまで平成十二年に努力賞を受賞、以来優秀賞や特賞の受賞を重ねることができました。この度は白銀の部、無鑑査認定を賜りました。刀装金具製作の仕事を通じて、ご支援いただいた皆さまに感謝を申し上げますとともに、これからも一層の研鑽を重ねてまいる所存です。

〒270-0141 千葉県流山市松ヶ丘二-三三〇-一三三　☎〇四-七一四三-四三九九

★独立開業しました

ご挨拶の機会を頂き、ありがとうございます。私は、研師の佐々木卓史師の下で修業を積み、今年の四月に独立し、神奈川県横須賀の地で研師として開業いたしました**相良雄一**と申します。このコロナ禍で独立することとお慶び申し上げます。さて、私こと左記の通り独立開業を果たしました。私は十五年間、師である佐々木卓史の下にて研磨技術の研鑽に努め、この度独立のお許しを頂くことができました。これも皆々様のご指導、ご支援の賜物と心よりの感謝を申し上げます。この上は、一意専心努力してまいる所存でありますので、なにとぞご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

秋田勇喜 拝

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下二-七-一八　刀剣研處秋田　☎〇八〇-五二五七-八一八九

■このコーナーでは、組合員・賛助会員の皆さまの近況をお伝えしています。写真などを添えてお送りください。

★独立開業しました

刀剣界の皆々様におかれましては、いよいよご隆昌のこととお慶び申し上げます。さて、私こと左記の通り独立開業を果たしました。私は十五年間、師である佐々木卓史の下にて研磨技術の研鑽に努め、この度独立のお許しを頂くことができました。これも皆々様のご指導、ご支援の賜物と心よりの感謝を申し上げます。この上は、一意専心努力してまいる所存でありますので、なにとぞご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

秋田勇喜 拝

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下二-七-一八　刀剣研處秋田　☎〇八〇-五二五七-八一八九

■このコーナーでは、組合員・賛助会員の皆さまの近況をお伝えしています。写真などを添えてお送りください。

銀座日本刀ミュージアム
泰文堂
〒104-0061 東京都中央区銀座６-７-16 岩月ビル２階
㈱銀座泰文堂　代表 川島貴敏
TEL 03-3289-1366
FAX 03-3289-1367
http://www.taibundo.com

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
㈱日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

日本刀・刀装具 販売・買取
美術刀剣松本
松本富夫・松本義行
TEL.04-7122-1122
千葉県野田市清水199-1 刀剣松本 検索

美術刀剣、小道具、武具類の売買、加工及び御相談承ります
大阪刀剣会
吉井唯夫
大阪市中央区日本橋二-七-一
TEL ○六-六六三一-二二一〇
FAX ○六-六六四四-五四六四

刀剣古美術
三峯美術店
町田久雄
埼玉県秩父市野坂町一-十六-二
西武秩父駅連絡通路 町久ビル内
TEL
FAX ○四九四-二三-三〇六七

令和3年7月15日発行（隔月刊）　**刀　剣　界**　第60号

二〇二一年度「現代刀職展」
（作刀・刀身彫・彫金の部）入賞者
公益財団法人日本美術刀剣保存協会

■作刀の部
太刀・刀・脇指・薙刀・槍の部
〈高松宮記念賞〉北川哲士
〈薫山賞〉木村光宏
〈寒山賞〉藤田宗久
〈公益財団法人日本美術刀剣保存協会会長賞〉森國利文
〈優秀賞〉安藤祐介・宮城朋幸・工藤芳洋・小宮治氣・金田達吉
〈努力賞〉宮下輝・加藤政也・羽岡慎仁・髙橋祐哉・冨岡慶一郎・田中諭・満足浩次・松川隆・吉田政也・佐々木直彦・古山直樹
短刀・剣の部
〈薫山賞〉山下浩郎
〈寒山賞〉加藤政也
〈優秀賞〉安藤祐介・木村光宏
〈努力賞〉工藤芳洋・新保基治・髙羽弘宗・森光秀
〈努力賞・新人賞〉山野達人

■刀身彫の部
〈優秀賞〉柏木幸治・片山恒

■彫金の部
〈優秀賞〉福與裕毅・川島義之
〈努力賞〉栁川清次・阪井淳・大川千光・髙橋正樹・上野宏樹・武田守夫

「現代刀職展」の表彰式（2020年度）

「現代刀職展」今に伝わるいにしえの技」は七月十七日（土）～九月二十日（月）、刀剣博物館で開催される。また、表彰式は七月二十九日（木）、第一ホテル両国で挙行される。

第11回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」入賞者　公益財団法人日本刀文化振興協会

	作刀	刀身彫刻	研磨	刀装具	白銀	白鞘	柄巻き	鞘塗	拵	拵下地
文部科学大臣賞	根津　啓									
経済産業大臣賞	根津　啓									
日本刀文化振興協会会長賞	河内　一平		倉島　一					小山　光秀		
特別賞		長野県知事賞 木下　宗憲	信濃毎日新聞社賞 阿部聡一郎	坂城町長賞 木下　宗憲					坂城町教育委員会 教育長賞 桑野　敏朗	
金賞第1席	上山　陽三		水田　吉政		杉山　英明	森井　敦央	遠山　和康			森井　敦央
金賞第2席	明珍　裕介		藤川　二朗	川上　登	松本　豊	古川　和幸	松川　泰典			
金賞第3席	月山　一郎		森井鐵太郎	福與　裕毅	平田　実					
銀賞第1席	吉田　康隆		関山　和進	長内　勝義		田澤　敦嗣	井上　裕隆			
銀賞第2席	安達　茂文			佐藤奈々美						
銀賞第3席				阪井　淳政						
銀賞第4席				伊集院貴子						
銅賞第1席	吉本　隆※1		國上　涼	BRODERICK Jeff			黒田　勉			
銅賞第2席				Christoph Kopp						

※文部科学大臣賞……作刀・刀身彫刻、研磨、刀装（外装）の3部門ごとに審査し、各部門の首席の中から最も優れた作品に対し授与
※1：銅賞第1席新人賞

特別公開部門　第5回 “Sword Oshigata Art” 入賞者

優秀賞第1席	関山　和進
優秀賞第2席	三浦　弘貴
優秀賞第3席	長津　祐介
優秀賞第4席	阿部聡一郎
佳　作第1席	久津間俊平

お知らせ

本紙第59号（5月15日発行）でお知らせしました第11回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」の開催について、前期「長野県坂城町鉄の展示館」では予定通り7月22日から開催しますが、後期として予定していました「明治神宮宝物殿」での展覧会は、コロナ禍による事態が先行き不透明のため、大変残念ではありますが中止と致します。なにとぞ事情をお汲みいただき、ご了承願います。

公益財団法人日本刀文化振興協会

ブック・レビュー　BOOK REVIEW

練達の編纂により全貌がわかる名品集
『日光二荒山神社「名刀 御神宝」』　定価三五〇〇円（税込）
監修：小川盛弘　編集・発行：日光二荒山神社 宮司 中麈輝美

中禅寺湖の畔に聳え立つ二荒山（男体山）は古来、神の山として崇められたわが国屈指の霊峰である。奈良時代末、この山の霊威と神秘に魅了された下野国の僧勝道が難行苦行の末、山頂に到達し、大己貴命、田心姫命、味耜高彦根命をお祀りしたことで、日光二荒山神社の歴史は始まる。

そして、頼朝開府以来、武家の信仰を集め、元和五年（一六一九）、家康廟を祀る東照宮が置かれ、歴代将軍が篤く帰依。維新後は国幣中社として尊崇を集めた。

国宝指定の名刀・備州長船倫光の大太刀をはじめとする御神宝は、日光二荒山神社の尊さ、そしてわが国の文化史、工芸技術史の素晴らしさを今に伝えて貴重である。

この図録は令和二年、「所蔵されている全ての分野の名作を網羅し、日光二荒山神社の全貌がわかる名品集」（吉田健彦名誉宮司）として、小川盛弘氏の監修で発行された。鮮明な写真と文化庁文化財調査官、日光二荒山神社の宝物館学芸員ら専門家による解説文とからなる空前絶後の一冊である。

まず特別展覧「皇室ゆかりの御下賜御物」。日光田母沢御用邸で度々静養された大正天皇・貞明皇后より御下賜の品々が載せられている。御成婚記念で昭憲皇太后が両殿下に賜った御所車香炉、漆工芸の名品（文台・料紙箱・硯箱）は、明治期の金工師、漆器職人が腕を揮った神品である。

第Ⅱ章は金銅装の荘厳な神輿、神馬の馬具、薙刀と拵、狛犬、能面の数々に見る二荒山神社の神事。

第Ⅲ章は二荒山神社の山岳信仰史を伝える男体山山頂奥宮出土品の紹介。山頂遺跡の規模は大きく、「山の正倉院」の異名を取るほどに、出土品は多い。日光駅から遠く離れた男体山の山頂に登り、発掘に汗した先人の労苦……まさに頭が下がる。

出土品中、修験者の往還を示す錫杖頭や剣・短刀に興味が向く。刀身のみで柄頭や鞘を伴わず、しかも刀身部に透かしが施され、武器ではなく奉納用の雛形であろうという。ただ、修験道といえば出羽月山である。月山綾杉肌は修験の道を伝って、洛北鞍馬の吉次、薩摩波平鍛冶にも伝播した。二荒山にも出羽の修験者が往還し、出土剣・短刀にも実は綾杉鍛えの作が、などと勝手な想像は膨らむ。

さて、名刀編は第Ⅰ章。日光二荒山神社蔵の刀剣といえば、鎌倉時代後期の来国俊の小太刀や、南北朝時代の倫光の大太刀（共に国宝）が有名である。が、実はもっと遡る時代の刀剣が多数ある。例えば、№8の平安時代十一世紀の作とみられる太刀。先へ行って付す反り、魚のカマスに似た形の切先、区上の焼き落とし、そして暗く沈んだ細直刃……。

日本刀草創期の太刀の刃先に見える微かな光、これを小川氏は「埋焼（うずめやき）」と表現している。平安中期から末期の焼刃の手法である。長い研究歴と刀剣への慈愛に満ちた、小川氏の解説文に思わず唸る。

太刀の多くには、ほぼ同時代の外装が付帯している。例えば抜丸の太刀は、薄紙を張った上に鮫を着せた柄、平織布を着せた鞘下地で、柄の覆輪に建治二年卯月二十二日、佐野氏綱奉納を伝える銘文がある。奉納品ゆえに遺存したもので、刀剣・刀装の研究上、きわめて貴重である。

そしてこの抜丸の拵にヒントを得て執筆された小川氏の論考「神風は吹かなかった―名刀 日光長光の出現」が実に面白い。上杉家の高瀬長光に「文永十一年十月廿五日」の年紀があるのはなぜなのか―。刀剣研究家の間で不問に付されてきた長年の謎に挑んだ小川氏は、高瀬長光こそが、実は、文永の役（蒙古襲来）の戦勝記念として佐野一族により、日光二荒山神社に奉納された「日光長光」であると推考する。そして高瀬長光の拵の鯉口内部に、小川説を強く支持する重大な証拠があるという。

何という大胆な発想と展開だろう！　抜丸の外装を手にし、現物のみが放つオーラを感じながら鞘の銘文を見ていた小川氏。おそらく全身の毛が逆立つようなインスピレーションを得たに違いない。

小川氏の刀剣研究の情熱、論考執筆に際し服部英雄氏の『蒙古襲来』（山川出版社）を参照する視野の広さ。まさに刀剣研究はかくあるべし。筆者は心より賛意と敬意を表する次第である。

（小島つとむ）

■小川盛弘（おがわ・もりひろ）
埼玉県熊谷市出身。昭和二十一年生まれ。メトロポリタン美術館名誉特別顧問。ボストン美術館日本武器武具名誉キーパー。十三歳ごろから武具に興味を持つ。國學院大学で、鈴木敬三氏に就いて有職故実を学ぶ。大学三年の時、佐藤寒山博士を顧問として、國學院大学日本刀研究会を創設。編著書に『寒山新刀押形事典』『ボストン美術館蔵日本刀・刀装・刀装具集』ほか多数。

■本書は日光二荒山神社中宮祠宝物館にて購入できる。またはWEB上の注文フォームにて送信すると、折り返し連絡がある。

令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀　剣　界　第60号

古老に聴く　第三回

不思議な道具

綱取　譲一

名和弓雄、この人の名前を覚えている人、知っている人は今、どれくらいいるのだろうか。日本甲冑武具研究保存会の創立メンバーの一人であり、隠し武器、火縄銃、捕り物道具、拷問用具！の蒐集家であり、古武道家、時代考証家、そして作家としての顔も持つ。

中学生だった俺に氏がプレゼントしてくれた氏の著書は、カッパ・ノベルスくらいの大きさの『あなたも忍者になれる』だったと記憶している。

二十代になった俺が頂いた氏の著書は『間違いだらけの時代考証』。このタイトルに反応する人は多いだろう。ベストセラーだった徳大寺有恒さんの『間違いだらけの自動車選び』にあやかったものだ。そう、氏は世の流行も敏感に感じ取る人だったのだ。

俺は古い職場の在庫の中から、氏の著書の中に解説されていたものと似たものを見つけ、氏の元に走った。堤宝山流振り杖という謎の物体と思わしきものだ。氏に見せた途端「ジョーちゃん、これは槍の柄を改造して最近作った偽物だよ」と一蹴。俺ガッカリ。

本物は槍より少し太い柄に鉄の筒をかぶせるように延長し、その末尾に蓋になるような分銅が付いている。今でも理解不能なのは「一瞬にして敵を打ち」、ここまでは良い。「また一瞬にして鎖と分銅をもとに収める」と氏の著述にあり、引き込む装置などない。それを何度見ても俺には？だった。

また、浅草の小さな交換会で組合黎明期のメンバー、松島礼二さん、山崎昭さんらの首を捻らせている道具があった。内部は鉄の螺旋状の骨組み、それを牛革の箱が包んでいる。これは！と思った若き日の俺は競り落とし、またも氏の元へまた走った。「おおっ、切り火縄入れか。ジョーちゃん、好きな価格を言ってみなさい」と。俺ニッコリ。

この日の最後に、俺は氏に問いかけてみた。「わかっていることを同業の人たちに教える必要はないのでしょうか」と。氏は即答。「当たり前ですよ。商売敵を利口にしてどうするの。ジョーちゃん、一人で儲けなさい」

物知りな年配者たちも多くはこの世を去り、今、自分も六十歳を超え、その段階を過ぎたと感じる。甲冑の多くが定石から外れたカスタマイズを受け、また謎の物体たちはガラクタへの道を歩んでいくかもしれないからだ。

唯一の光は、名和弓雄氏のコレクションは散ってしまったが、捕り物と拷問、この二ジャンルは明治大学の刑事博物館というところに収蔵されていることだ。

これも名和先生から頂いた

話題の剣人　No.006

島口 哲朗 さん（サムライ・アーティスト）
武術と技芸の融合「剣伎」で世界にはばたく

会津若松市・会津武徳殿の皆さんとともに。前列中央が島口さん

今日は、私の友人で世界から称賛を集めている現代のサムライ・アーティスト島口哲朗さんをご紹介します。

彼との出会いは随分と前のこと。もともと熱心に活動されていましたが、三年ほど前に再会した時、世界から注目されるサムライへと変貌を遂げていて、この島口という男はただ者ではないなと、本当に驚きました。

島口哲朗さんは、一九七〇年生まれの五十一歳。歌舞伎や日本舞踊などの経験を活かして独創的なパフォーマンスを構築。新陰流兵法転会の板橋教場長としても活動。武術と技芸の融合と題し、剣で演じる「剣伎」を編み出し、剣伎衆かむろというアーティスト集団を率いて国内外で活躍中です。

世界十数カ国で道場を展開、アメリカのJ・F・ケネディセンター、イタリアのヴェッキオ宮殿・ペルゴラ劇場、ロシア・サンクトペテルブルクのエルミタージュ美術館をはじめ、これまでに世界三五カ国、一五〇都市で公演を行っています。

また、二八年にはイタリア・フィレンツェにてアジア人初のコンソナンゼ文化芸術賞を受賞。三年前には福島県と会津若松市の観光大使にも就任しました。日本文化・芸術としてのSAMURAIを内外に発信してくれているのです。

今年はコロナ渦ではありますが、社団法人Code of the Samuraiを設立。会津若松市に剣伎道の道場を開設するなど、余りあるパワーを二〇〇%燃やして活動中です。

島口さん曰く、「侍は決して歴史の一部ではありません。私が目指す剣伎とは、武芸と技芸の融合です。自然への畏敬の念、他者への気遣い、責任や誇りなど、世界から尊敬されている日本人の心の在り方・生き様を大切にし、体感共有することにより人生の糧としていただくとともに、これからの未来につないでいくことです」とのこと。現在の目標は、世界ツアーと世界道場の展開だそう。いや～、本当にパワフルでビックリさせてくれる方です。

私は、こんな彼と福島会津へご一緒して、日本発信ブランディング映像に関わらせていただいたりしています。プライベートでは、共に板橋区民で歩いて行き来できる距離に住んでおり、時間を見つけては親交を深めています。

彼は今、「世界の島口」への道をまっしぐらに進んでいます。将来は必ず刀剣業界の助っ人になる人物だと思い、紹介させていただきました。応援をよろしくお願いします。

（生野　正）

不屈の原点
生誕180年・資料で語る
田中正造　4

愛刀家
研ぎ重ね刃文の美堪能

新選組の近藤勇は1834（天保5）年、土方歳三は35年、後に実業家になる渋沢栄一は40年に生まれた。いずれも関東の比較的裕福な農民の子で、道場で剣を学んだ。

田中正造は41年に生まれ、生年が近い。勤王家である国府義胤の道場で剣を学んだ可能性があるが、詳しくは分からない。ただ、危険な狂犬をただ一刀で斬り倒す実力があった、と自伝「田中正造昔話」で自慢している。

正造が95年12月30日においの原田定助に贈った短刀を紹介する。長さ22・2㌢、反り0・2㌢、目くぎ穴が2個。「冬廣作」の銘がある。

刀剣の専門家によると、作風から判断して戦国時代に作られた短刀で、「冬廣」銘の刀工は多いが相州（現在の神奈川県）刀工であると、助言を頂いた。

短刀は通常、護身用である。愛刀家であった正造は刀を手入れするたびに刀の姿や刃文などの美しさを堪能し、心を休ませていたと思う。幾度となく研がれた結果、やや細っており、そこにも歴史の重みを感じさせるから不思議である。

ところで、正造と近藤勇には共通点がある。2人とも「虎徹」という有名な刀工銘の刀を持ち、それを誇りとしていた。

69年8月、正造は堀米地蔵堂の手習い塾を人に任せ、江戸に旅立つ。さらに、仕官を求めて江刺されたが、98年になっても刀を購入したと日記に書いている。

農民の子である正造にとって、刀は憧れであり、特別なものだった。

（佐野市郷土博物館長・茂木克美）

正造が原田定助に贈った短刀（上）とさや

『下野新聞』令和3年6月9日

NEWS & TOPICS

映画「歳三の刀」の撮影に
高野刀匠が協力

幕末に活躍した新選組の副長、土方歳三を題材にした日露合作映画「歳三の刀」の撮影が、栃木県で進んでいる。同県は、土方が戊辰戦争で宇都宮城攻防戦の先頭に立ったゆかりの地だ。

作品は一般社団法人ユーラシア国際映画祭が企画・製作。ロシアで発見された魔力を持つときされる土方の愛刀「堀川国広」を巡る歴史ファンタジーで、困難を乗り越えて真実の愛や友情を見つける物語。俳優の辰巳琢郎さんや原めぐみさんらが出演している。

那珂川町のロケでは、同町在住の高野和也刀匠が協力した。

撮影は六月十五日、「すくすくの森公園」内にある鍛錬道場でクランクイン。侍が鍛刀を依頼するシーンなどを撮った。高野刀匠はこの映画のための打刀を新たに製作。役者に熱した玉鋼の扱い方などを教えた。

県内の撮影は、日光市の日光江戸村や那須町などでもあり、今後は福島県や北海道、ロシアでも行われる。

「歳三の刀」は来年初夏に完成し、日露両国で配給・上映される予定。また、同団体の主催で十月十六日に県総合文化センターで開催する「栃木新選組祭り」では、今回の作品と併せて製作している「サムライの町栃木」と題する映画を上映する。

■高野和也＝〒324－0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭三八五 ☎〇二八七－九二－三七一三

増山麗奈監督（中央）らと高野刀匠

令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀　剣　界　第60号

博物館探訪

立花家史料館

勇将宗茂ゆかりの地で名品・優品を堪能する

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令、それに伴う外出自粛、観光客の激減などにより、貴重なミュージアムの一つが解散の危機に立たされていたことを存じだろうか。

展覧会で目にした方も多いであろう、同作中の最高傑作（と筆者は確信する）国宝 短刀 銘吉光をはじめ三万点もの資料群を有する立花家史料館である。そこで同館は、本年初頭にクラウドファンディング「散逸の危機から立花家の重宝を守る 柳川・立花家史料館にご支援を」を立ち上げた。

幸いにも、当初の目標額である六百万円を大きく上回る二千二百万円余の寄付金が集まり、今年度の危機は脱した。目標額を公開初日に達成したという事実からも、同館の評価の高さを窺い知ることができる。

しかし、筆者は現地に足を運んだことはなく、返礼として立花家十七代当主、立花宗鑑（むねあき）様より館内を解説していただけるということで、初めて伺った次第である。

平成23年に松濤園を含む敷地全体が「立花氏庭園」として国に名勝指定されている

同館は当地で四百年余にわたり受け継がれてきた柳川藩立花家の伝来品を管理し、昭和二十六年から一般公開もしてきた歴史ある史料館である。刀剣・甲冑武具をはじめ、茶道具・書画・能道具など五千点にも及ぶ大名道具を収蔵し、平成二十六年には公益財団法人として認定されている。

「御花（おはな）」と呼ばれる立花家旧邸宅に隣接した館内には、戸次道雪・立花宗茂所用と伝わる伝兼光や道雪が若いころに雷を切ったという伝承から名付けられた無銘雷切丸などの刀剣類のほか、甲冑武具や茶道具、古筆、婚礼の調度品など伝来の確かな優品が多数展示されていた。宗茂所用の伊予札縫延栗色革包仏丸胴具足や、三代藩主鑑虎所用の鉄錆地桜文亀甲鉄繋畳具足など戦国の気風を残したものから、華やかで個性豊かな大名具足の優品まで、歴代所用の甲冑群の展示は特に素晴らしかった。

これだけの優品を一同に並べて歴史の変遷を俯瞰できるのは、長い間同家の美術品を散逸させることなく守り続けてきた同館ならではの魅力だろう。

また、明治時代に伯爵家となった立花家の邸宅は、史料館のチケットで共に見学できる。洋館と和館が並び立つ和洋折衷の形式で、華やかな雛人形や柳川地方に古くから伝わる「さげもん」が、部屋いっぱいに飾られていた。

初代藩主宗茂が一隊全員に揃って着用させたという金箔押桃形兜（同家では金甲と呼び、現在でも同家に200点以上が伝世する）が調度品として長押（なげし）に飾られているのは圧巻であった。

大広間からは国指定名勝の松濤園が望めた。明治に入って整えられたという近代庭園で、二百八十本もの松と岩島が配されている。

折しも感染症が再拡大し、緊急事態宣言が再発令されることとなり、長居することはかなわなかったが、歴史情緒あふれる料亭旅館「御花」では同地名物の鰻の蒸籠（せいろ）蒸しや有明海産の郷土料理を頂くことができ、川下りなども楽しめるとのことであった。次回はぜひ堪能してみたいものである。

筆者は九州国立博物館から車で向かったので四十分ほどの道のりであったが、福岡空港からであれば一時間ほどであろうか。佐賀空港からであれば、リムジンタクシーで三十分とのことである。

コロナ禍が収まった際には、読者の皆さまには同地に足を運んでいただき、この貴重な史料館存続の一助となってくださることをお願いしたい。（飯田慶雄）

■立花家史料館＝〒832-0069 福岡県柳川市新外町一（国指定名勝 立花氏庭園内）☎〇九四四-七七-七八八八 http://www.tachibana-museum.jp/

「さげもん」とは、お雛様と一緒に天井から下げられる鞠や人形などの飾り付け

古都の折々の5

夏によせて

石井 理子

筆者は奈良県在住

夏の苦手なものといえば、虫、まとわりつく暑さ、テレビの怪奇番組、霊能特集……。要するに、暑がりで怖がりなのだ。

しかし、その怪奇現象を起こす者たちにもそれなりの事情があるのでは？と思うようになった。

日本の物語の怨霊代表といえば、源氏物語の六条御息所（みやすんどころ）、雨月物語から吉備津の釜の若い妻磯良（いそら）、耳なし芳一の平家の怨霊あたりだろうか。

六条御息所と磯良は男の心変わり、裏切りを嘆き悲しんだ挙句に怨霊と化す。おまけに人を取り殺してすらいる。

平家の怨霊は人こそ殺めてはいないが、芳一を取り殺す寸前であった。しかし、そこには滅亡した者の悲しみと無念がこもっているように思う。

何度も読んで、彼らと付き合ってきたつもりなのに、何もわかっていなかった。本当にごめん。甘かった。

耳なし芳一と吉備津の釜は、小学生のころに読んだ。ただただ恐ろしく、子供部屋が明るいうちに読み、読後は理由をつけて親の傍にいた。今となれば可愛らしい思い出だ。

そんな臆病な娘は四十を超え、いよいよ父を見送ったのだ。

ここ数年、入退院を繰り返し、慢性的な不調が続いていた。

そんな父の死に様は、木が枯れるが如くであった。人の寿命というものを理解させ、納得させるものであったように思える。

そのせいか、「お父さん、あっさり逝ってしもたねえ」と言いつつ線香をあげる日々だ。

幽霊、怨霊にはできればお目にかかりたくない。しかし、父ならば幻でいいので会いたいと思う。

「お茶、飲んでいくか」と、あの慣れた手つきで薄茶を立ててくれないだろうか。

今年は、そんな幻にあこがれるような気持ちで新盆を迎える。

私事ですが、五月の総会の折、危篤の報を受けご心配をおかけしました。また、死去後にもお気遣いを頂き、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

桃山時代から江戸時代初期にかけて製作され、この中のいくつかは文禄の役、慶長の役の際に使用されたと伝えられる兜

甲冑の話題——⑫

（一社）日本甲冑武具研究保存会

コロナ禍は収まるどころか新しいステージに入っているのでは？と感じさせる昨今ですが、今回は（公財）馬事文化財団様と私ども（一社）日本甲冑武具研究保存会で共催する展示会について紹介させてください。

特別展「サムライアーマー」

会期：令和三年六月二十六日（土）～九月五日（日）

会場：馬の博物館（横浜市中区）第二展示室

昨年、オリンピックの開催に合わせて催される予定でしたが、オリンピックの延期に伴い本年の開催となりました。

安土桃山時代やその前後の時代の作とされる甲冑を中心に、五十四点が展示されます。数こそ少ないですが、鎌倉時代、南北朝時代～室町時代初期のものも展示されます。平成二十三年に鎌倉大倉幕府周辺遺跡から出土した籠手は、その造りまで含めて今回の展示における目玉と言えるでしょう。

展示物の中で個人的にお勧めしたいのは「金銅桐紋甲冑金具」（南北朝時代）と「威糸一式」（江戸時代末期）です。前者は甲冑の各所に付けられる装飾金具を一つの箱に収めたものです。一領の甲冑に付いていたものの一部と思われます。他の甲冑に付いている同様の金具をご覧になって、その作域や時代感の違いを感じていただければと思います。

後者は、毛引威の甲冑一領分の威糸が木箱に入っているもので、箱には「文久三年」と書かれています。威糸一本の長さは七尺（約二一〇センチ）あり、誂えた際の仕様書のような文書も残っています。どのような背景・手法・工程でこれが製作され、どのような経緯で現在まで遺るに至ったのか等々を検証することは、私たちに楽しい以上に何がしかの気づきを与えてくれるのではないでしょうか。

この原稿を書いている五月下旬現在、横浜市は蔓延防止等重点措置の対象区域となっており、先行きも不透明な状況です。もしご都合が許されるなら、ぜひ足をお運びください。

（一般社団法人日本甲冑武具研究保存会理事 佐々木 亮）

鉄黒漆塗雪下胴具足　江戸時代

金小札色々威腹巻　安土桃山時代

令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀　剣　界　第60号

質問箱

第十一回 豊後高田刀・その一

回答者◉冥賀 吉也

無銘極めの刀剣類の中で、平高田・高田・藤原高田などがありますが、その区別がよくわかりません。また、なぜそれらの極め物が多く存在するのか、その理由や、豊後刀の歴史についても詳しく教えてください―という質問が寄せられました。

今回、質問に対する回答が多岐にわたるため、二回に分けてご説明しましょう。

◎平高田・高田について

『日本刀講座』（雄山閣）には、平高田鍛冶について次のように記されています。

「応永から永禄・元亀・天正のころまでの高田の住人で、平姓を名乗る刀工である。盛家（応永）をはじめとして家盛（明応）・長盛（文明）・治盛（永正）・定盛（天文）ら数十人あり。地鉄板目肌流れ、柾目がかるもので白気映りのあるもの、刃文は直刃の淋しきもの、直刃に足入り、互の目乱れに尖り刃の交わる、あるいは腰開きたる互の目、皆焼（ひたつら）の如きものなどあり、焼崩れ・打除（うちのけ）・掃掛（はきかけ）などがあり、むら沸つき、鋩子（ぼうし）は乱込み・掃掛・尖り目などいろいろ、末備前・宇多物・藤島などに似たる」

次に、単に無銘高田に極められている刀剣類についてですが、室町期の豊後国においては、平高田鍛冶以外にも数多くの刀工が活躍しています。山田正任『図説豊後刀』の巻末に記されている鍛冶名一覧によれば、平高田鍛冶を含め実に二九四名の刀工の名が挙げられています。そこで一般的に無銘高田に極められているものは、室町期に豊後国において製作された刀剣類と考えてよろしいと思います。

◎なぜ平高田・高田極めが多いのか

その理由は、大きく分けて二つ考えられます。

その一つは、平高田や高田鍛冶の作風が多岐にわたっているからです。

同時代の末備前や関鍛冶には、おのおの共通する作風があります。例えば、末備前の刃文は広直刃に葉の入ったもの、複式互の目などが主流であり、関鍛冶は尖り刃や地蔵帽子などの特徴が顕著です。しかし、平高田などの刃文は前記の「末備前・宇多物・藤島などに似たる」もののほか、末三原風のもの、皆焼刃、匂口のキリッと締まった青江風のもの、尖り刃の交じった美濃風のものなど、さまざまです。

無銘の刀を極める場合、室町期のものであることは判断できるが、次にどこの国の誰の作かと迷った時に思いつく刀工群が、さまざまな刃文の見られる高田鍛冶なのです。

しかし、高田鍛冶の作風にもしっかりとした特徴がありますので、その点について述べてみましょう。

高田物は「折れず、曲がらず、よく切れる」刀本来の三要素を兼ね備えており、優美さよりもむしろ頑強さを重視した姿を特徴としています。武用刀として作られているために、重ねが厚く、平肉が付きすぎ、先反りがさらに強く、頑丈な姿となっています。

地鉄は板目肌詰むものと肌立つものの両様がありますが、いずれも流れ心があり、かす立ち、多くは白け心があります。さらに、皮鉄が硬いとも言われています。

刃文については前述の通りですが、特に匂切れが出ることが欠点でもあり、特徴でもあります。棟焼きの現れることも見所の一つです。

彫物は少なく、棒樋のあるものがありますが、両チリの樋が多く見られます。

以上のような大切な見所もありますので、記憶されたら良いでしょう。

◎現存する作品がきわめて多い

無銘極めの多い第二の理由として、高田鍛冶の刀が非常に多いことが挙げられます。室町期の刀剣類では、末備前や関鍛冶と同数ぐらいあったかもしれません。二九四名という前出の刀工数から考えて、末備前の刀工をむしろ上回るかもしれません。

それほどの刀工がなぜ豊後国にいたのか、また多く作られたかについて考えてみましょう。

最大の理由は当時、豊後国の守護大名大友氏との関係が考えられます。

室町後期、特に大友宗麟の時代は、豊後のみならず豊前・筑前・筑後・肥前・肥後の六カ国を領有し、支配していたと言われています。それらの地を支配するために各所に大友氏の有力武将を配置し、その城下において武器である刀剣類を作らせ、需要に応えていたと考えられます。

大友氏はそのほかに、中国・朝鮮・ポルトガルなどとの外国貿易を盛んに行い、巨万の富を得ていました。その輸出品目の中に刀剣類があった史実が明らかです。

さらに、これは想像の域を出ませんが、四国および瀬戸内海沿岸の諸大名にも「折れず、曲がらず、よく切れる」武用刀である豊後刀を輸出していたことも十分考えられます。

これほど大量の刀剣類を製作するには、大友氏の庇護の下、巨大な「座」の組織があったことが想像できます。製作依頼、材料の提供、代金の支払い、運搬、拵製作などの諸工作、貿易交渉などの実務は、専門組織である刀座が行ったに違いありません。

今後、大友宗麟時代の海外貿易品の中で、刀剣の数量・価格などの資料や座に関する資料が発見されることを期待したいものです。

◎ブランド名としての「高田住」

豊後国には「高田（たかた）」の地名が二カ所存在します（上掲の地図参照）。

室町期の刀剣類で「高田住」と銘するものは非常に多く現存しています。大友家城下に近い高田地区において製作されたものは当然「高田住」と銘しますが、その他の製作地でも大友氏の抱え鍛冶であれば、すべて「高田住」と銘したであろうとの説もあります。

つまり、大友氏には数多くの出城があり、それらの地で製作された全ての刀剣類に「高田住」が入れられ、一種のブランド名として流通したのかもしれません。

◎平長盛について

末備前では与三左衛門尉祐定や勝光・宗光・忠光・清光が、関鍛冶では兼定・兼光・氏房などの有名刀工が数多くいますが、高田鍛冶ではきわめて少なく、一人長盛のみが断然光っています。

高田鍛冶の事実上の祖は長盛と言われ、永正前後に活躍しました。一説には、同銘が何代かいたとも言われています。

高田物の中にあって珍しく彫物があり、上手です。小締まりした額内に剣巻龍の彫りがあり、一見相州総宗に似ていますが、龍の顔が真正面を向いている特徴があります。

刃文は高田物らしくいろいろありますが、特に匂の締まった直刃が多いです。

〈参考文献〉
雄山閣刊『日本刀講座』
本間順治『日本古刀史』
山田正任『図説豊後刀』
中原信夫『室町期からの大分県の刀』

平高田鍛冶に見られるさまざまな刃文

平鎮教　景盛作　平鎮種　平長盛　平定盛　平鎮成　平永盛　平豊盛

中原信夫『室町期からの大分県の刀』より転載

令和3年7月15日発行(隔月刊)　刀　剣　界　第60号

催事情報

■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32　☎06-6946-5728
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

豊臣秀吉ゆかりの品々

豊臣秀吉定書　天正18年

豊臣秀吉（1537-1598）は「戦国一の出世頭」として知られる戦国武将ですが、大坂城を築き、後の「都市おおさか」発展の基礎を作った、大阪の歴史を考える上でも欠かせない人物です。また、秀吉に仕えた家臣や、彼が愛した女性といった歴史上の人物たちもみな個性的で根強い人気があり、彼らの活躍は物語などの形で、現在に至るまで親しまれています。

今回は、秀吉や彼の生涯を彩った人々にまつわる館蔵・寄託資料の一部を「豊臣秀吉ゆかりの品々」としてご紹介します。秀吉たちが遺した古文書や、彼らの物語をモチーフに作られた芸能・芸術関連資料、また近代の大阪豊国神社造立・大阪城再建関連資料などから、秀吉たちの生き様と、後の世に与えた影響を考えます。

会期：7月14日(水)～8月30日(月)

■岐阜県博物館

〒501-3941 岐阜県関市小屋名1989　☎0575-28-3111
http://www.gifu-kenpaku.jp/

特別展「薩摩の陶と刀―響きあう美濃との歴史と文化―」

江戸中期、薩摩藩によって実施された木曽三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年に鹿児島県と岐阜県との間で姉妹県盟約が結ばれました。以後、さまざまな交流事業が行われる中、令和３年には50周年を迎えます。このことを記念するため、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島が誇る「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催します。

幕末に欧米で絶賛され、工芸のジャポニスムを沸き起こした絢爛豪華な「薩摩焼」、歴史は平安時代にまでさかのぼる「薩摩刀」は世に名高いものの、これまで岐阜県内で紹介される機会は少なく、十分に知られているとは言い難い状況にあります。そこで、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の所蔵品を中心として、それらの歴史や優れた技術・技法などを紹介します。

会期：7月23日(金・祝)～9月26日(日)

■福岡市博物館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-1-1　☎092-845-5011
http://museum.city.fukuoka.jp/

特別展「徳川家康と歴代将軍～国宝・久能山東照宮の名宝～」

久能山東照宮には、徳川家康の甲冑三領や晩年の日常生活で愛用した品々（重要文化財「徳川家康関係資料」）76件191点をはじめ、江戸城内に保管されてきた歴代将軍の武具・甲冑、歴代将軍が代替わりや参詣に際して奉納した刀剣、将軍や徳川家ゆかりの人々による書画類など、約500件2,000点余（国宝・重要文化財76種200点余）の御神宝が所蔵されています。

創建400余年に及ぶ久能山東照宮において、大切に守り伝えられてきた桃山時代から江戸時代の美術工芸の粋。本展は、これらの中から、名刀や甲冑、書画など選りすぐりの御神宝約150点を一堂に公開する、過去最大の久能山東照宮展です。なお、企画展「天下取りと黒田孝高・長政」を同時開催します。

会期：7月16日(金)～9月5日(日)

■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966　☎0869-66-7767
https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token/

夏季特別展「武将・名家の品格―受け継がれた刀剣―」

刀剣は、身を守る武器としてだけでなく、各時代で信仰の対象や褒賞品などにさまざまな用途で活用されるとともに、美術品や威信材として所持された。例えば、室町時代末期からの戦乱の時代には、武将に武功の褒賞品や、贈答品として、江戸時代では、武功の褒賞品としての側面より美術品やコレクション的なアイテム、家の家格の象徴として所持されることが多くなる。

しかしながら、いずれの時代でも共通していることがある。それは、刀剣自体が、先祖が華々しく活躍した戦闘での業績を称える象徴でもあったことや、家の格式を表す一種のステータス的な意味合いを持つことである。

本展示では、大名家をはじめとする各家に伝わった一級品の刀剣類を展示するとともに、室町時代末期から江戸時代にかけ刀剣を所持することがどのような意味合いを持っていたのか、当時の刀剣文化や風俗と絡めながら解説する。

会期：7月30日(金)～9月12日(日)

会場によって休館日が異なります。事前に確認の上、お出かけください。
現下の状況で入場制限もありますので、それぞれのホームページをご覧ください。

■京都髙島屋　6F美術画廊

〒600-8520 京都市下京区四条通河原町西入真町52　☎075-252-7195
https://www.takashimaya.co.jp/kyoto/

百錬精鐵―刀匠 月山貞利展

精力的に作刀し発表している月山貞利刀匠が、当地で初めての個展を開催する。昨年の東京日本橋店から１年足らずでありながら、最新作の発表も加わり楽しみである。「平成の名刀・名工展」で大賞受賞の同刀匠の綾杉肌と迫力ある龍彫りを施した最新作約15振（小物含まず）、また活躍著しい後継者、貞伸刀匠の作品約６振も、展示販売される。

会期：8月25日(水)～31日(火)

■姫路市立美術館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25　☎079-222-2288
https://www.city.himeji.lg.jp/art/

文化観光拠点計画認定記念特別展「日本の心象―刀剣、風韻、そして海景」

日本の美意識を象徴する刀剣の刃文の美を手掛かりに、日本の風土が培ってきた深淵にして豊穣な心象風景を探求します。

「第１章 刀剣の光陰」では、国宝「明石国行」をはじめ国内の名刀約50口を紹介し、多様で奥深い刃文の美をひもときます。

「第２章 風韻、そして海景」では、現代の刀匠と鍛冶師・明珍兄弟による刀剣とたまはがね風鈴によるインスタレーションをプロローグとして、人間存在についての思考を写真で表現する現代美術家・杉本博司の写真作品「海景」シリーズを展観します。

「第３章 たまはがねの響」は城・美術館・庭園が一体となる唯一無二の景観を演出する庭園アートプロジェクト。明珍火箸「たまはがね風鈴」の音色を素材として菅野由弘によって作曲された「星雲光響2021」がパラメトリック・スピーカーを通じて生み出す立体的音響空間に光のインスタレーションが重なる芸術体験をお楽しみ下さい。

会期中、次のイベントを開催します。

◇オープニング記念トーク「日本の心象風景」青木保氏（文化人類学者・元文化庁長官）ほか
◇ディスカッション「エンターテイメントから始まる、もっと自由な刀の楽しみ方」橋本麻里氏（アートライター）ほか
◇講演会「たまはがねの絶景」明珍宗裕氏（刀匠・本展出品作家）、明珍宗敬氏（鍛冶師・本展出品作家）、植野哲也氏（本展監修・林原美術館主任学芸員）
◇講演会「姫路ゆかりの刀剣」末兼俊彦氏（京都国立博物館主任研究員）
◇「刀剣の光陰」解説会　森岡榮一（当館学芸員）
◇子ども鑑賞会

会期：7月3日(土)～9月5日(日)

■三菱一号館美術館

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目6-2
☎050-5541-8600　https://mimt.jp/

三菱の至宝展

三菱を創業し、4代にわたり社長を務めた岩崎彌太郎・彌之助・久彌・小彌太は文化財に多大な関心を抱き、その収集品は現在、それぞれ静嘉堂と東洋文庫に収蔵されています。彼らは当時の学者や芸術家とも交流し、その収集の態度は社会に貢献する広い視野をもったものでした。

本展では、初代岩崎彌太郎から小彌太に至る、芸術文化の研究・発展を通じた社会貢献の歴史をたどりつつ、静嘉堂・東洋文庫の所蔵する国宝12点、重要文化財31点を含む美術工芸品、古典籍などに三菱経済研究所の所蔵作品をあわせて貴重な作品群100点余りを展観します。また、本展は静嘉堂と東洋文庫の所蔵品が一堂に会する貴重な機会となります。

会期：6月30日(水)～9月12日(日)

■島田美術館

〒860-0073 熊本市西区島崎4-5-28　☎096-352-4597
http://www.shimada-museum.net/index.php

怖いかも展

首を取られ無残に横たわる武者の姿など、血なまぐさい合戦の様子を描いた絵巻や、刀剣・刀装具などに描かれたドクロをモチーフとしたデザイン、首実検の詳細について記された古文書など、作品や資料の中に描かれた「怖さ」に焦点を当てた展示である。「敵の首を槍の穂先に突き刺した騎馬武者の姿を描いた錦絵や、現代では美術品として鑑賞されているものの、本来は人を殺傷するために作られた刀剣や武具などから伝わってくる凄みや怖さを通して、当時の人々の死生観、畏れや誇りといった思いを感じてもらいたい」という。織田信長所用、細川忠興拝領の「晴思剣」も展示される。

会期：4月1日(木)～8月30日(月)

令和3年7月15日発行（隔月刊）　刀剣界　第60号

令和3年（2021）盛夏　暑中お見舞い申し上げます

掲載は申し込み順です

株式会社 安東貿易
代表取締役
安東 孝恭
岡山県岡山市北区清輝橋2-1-32
TEL 086-226-1251
URL http://www.katana-ando.co.jp
刀剣チャンネル→YouTube

刀剣・小道具・鎧
刀剣杉田
代表
杉田 侑司
豊島区池袋2-49-5
TEL 03-3980-1461
FAX 03-3980-1463
メール info@token-net.com

飯田高遠堂
飯田 慶雄
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
URL http://www.iidakoendo.com

刀剣・書画・骨董
株式会社 和敬堂
土肥豊久
土肥富康
新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
URL http://www.wakeidou.com

(株)晴雅堂清水
代表取締役
清水 儀孝
〒111-0032 台東区浅草2-30-11
TEL 03-3842-3777

川越 優古堂
三浦 優子
埼玉県川越市新宿町1-9-13
TEL 049-249-0700
FAX 049-249-0702

美術刀剣
勝武堂
武蔵国一の宮美術刀剣・骨董品・居合道・古式銃専門店
有限会社 清水商会
代表取締役
清水 敏行
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-7
TEL 048-644-3477
FAX 048-647-7434
URL http://www.surplusleopard.com/

刀剣研師
臼木良彦
〒135-0045
東京都江東区古石場1-2-7
TEL 03-3643-3228

拵合せ致します
日本刀鞘師
水野美行
〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町6-1
TEL 03-3353-8810

株式会社 刀剣柴田
柴田光隆
〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-8
TEL 03-3573-2801
FAX 03-3573-2804
URL http://www.tokensibata.co.jp

つるぎの屋
冥賀吉也
冥賀亮典
東京都北区西ヶ原4-35-1
TEL 03-3576-1753
URL https://www.tsuruginoya.com/

(株)丸英刀剣
銀座丸英
栃木県小山市乙女3-7-30
東京都中央区銀座7-13-22 友野ビル1階
URL https://maruhidetouken.com

刀処
(株)
永和堂
朝倉 万幸
朝倉 忠史
長野県長野市南県町1136
TEL 026-228-0001

銀座長州屋
東京都中央区銀座3-10-4

阿雲亭
笹原俊和
〒869-2612
熊本県阿蘇市一の宮町宮地4375-1
携帯 090-3078-4044

刀剣・新古美術品
株式会社 宝古堂美術
代表取締役
山田雄一郎
東京都目黒区上目黒1-1-6
TEL 03-3792-0008

奈良県無形文化財保持者
月山貞利
〒633-0073
奈良県桜井市大字茅原228-8
TEL・FAX 0744-42-3230
URL http://gassaninfo

高吉 刀剣
代表
髙島吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
URL http://www.premi.co.jp

銀座日本刀ミュージアム 泰文堂
川島貴敏
〒104-0061
東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階
TEL 03-3289-1366
FAX 03-3289-1367
メール taibundo@herbocn.ne.jp
URL https://www.taibundo.com

美術刀剣、小道具、武具類の売買、加工及び御相談承ります
大阪刀剣会
吉井唯夫
大阪市中央区日本橋2-7-1
TEL 06-6631-2210
FAX 06-6644-5464

刀剣鑑定書発行業務
一般社団法人 倉敷刀剣美術館
代表理事
佐藤均
〒710-1101
岡山県倉敷市茶屋町173
TEL 086-420-0066

刀剣・古銭・切手・古美術品 売買
(株)城南堂古美術店
代表取締役
田中勝憲
東京都目黒区上目黒4-31-10
TEL 03-3710-6776
携帯 090-3208-9612

銀座誠友堂
中央区銀座5-1 銀座ファイブ2階
TEL 03-3558-8001
URL http://www.seiyudo.com

銀座 盛光堂
齋藤恒
東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル
TEL 03-3569-2251(代)
URL http://www.ginzaseikodo.com

株式会社 山城屋
代表取締役
嶋田伸夫
東京都豊島区巣鴨1-21-8
TEL 03-3942-2701

(株)日本刀剣
伊波賢一
〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321

株式会社 美術刀剣松本
松本富夫
松本義行
千葉県野田市清水199-1
TEL 04-7122-1122
メール info@touken-matsumoto.jp

福隆美術工芸
FUKURYU FINE ARTS AND CRAFTS
代表者
綱取譲一
東京都中央区八丁堀3-1-3 飯野ビル1階
TEL 03-6280-4987

日本刀 販売・買取
有限会社 葵美術
代表取締役
鶴田一成
渋谷区代々木1-54-6
TEL 03-3375-5553
メール info@aoijapan.jp
URL http://www.aoijapan.jp

もちだ美術
持田具宏
さいたま市中央区上落合1-9-4-447
TEL 048-855-4792

服部美術店
東京都中央区日本橋3-5-12・2F
TEL 03-3274-5170

大和美術刀剣
大西康一
さいたま市南区大谷口5277
TEL 048-875-2122

赤荻刀剣店
赤荻稔
茨城県下妻市下妻乙172の5
TEL 0296-44-2643

研誠堂
石塚孝夫
〒113-0034
文京区湯島1-2-1
TEL 080-5473-0055

刀剣販売、月二回全国で展示即売会をしております
株式会社コレクション情報
代表取締役社長
村上和比子
岐阜県岐阜市西川手7-89
TEL 058-274-1960

株式会社 眞玄堂
〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町1-7-17
TEL 03-3252-7844
FAX 03-3251-1419
メール info@samuraigallery.com

刀剣・書画・骨董・茶道具
ギャラリーみそのう
御園生敏明
東京都江東区亀戸2-8-6 長谷川ビル1F
TEL 0120-000-388
FAX 03-5626-6134

武家文化の美と心
刀剣ギャラリー 樹林
代表
森野幸男
〒803-0812
北九州市小倉北区室町2-2-15
TEL/FAX 093-561-0449

株式会社 舟山堂
稲留修一
〒332-0011
埼玉県川口市元郷2-15-1-1309
TEL 048-222-8195

刀剣・古美術・古書画 (株)日宝
代表取締役
田澤二郎
〒160-8321
東京都新宿区西新宿1-1-4
京王百貨店 新宿店6階 刀剣サロン
TEL 03-5321-5301(直通)

株式会社 金丸刀剣店
金丸一三
東京都大田区東雪谷2-28-10
TEL 03-3728-3323

札幌 横山美術
横山忠司
〒060-0053
北海道札幌市中央区南三条東1-6
TEL 011-251-7652
FAX 011-251-1788

刀剣の店 玉山名史刀
玉山祐司・真敏
岡山市北区田町1-1-1
TEL/FAX 086-227-4188
URL http://www.t-touken.com

日本刀研磨・諸工作相談承ります
美術工芸武神
刀剣研師
黒田充弘
〒514-0022
三重県津市愛宕町158番地
TEL 059-236-1982

刀剣・小道具
美術刀剣 前田
店主
前田幸洋
〒577-0826
大阪府東大阪市大蓮北2-14-5
TEL 090-9621-8196

美術刀装具 石井
石井理子
〒639-2163
奈良県葛城市八川149-9
TEL 090-6236-8042

白銀師
宮本恒之
〒270-0141
千葉県流山市松ヶ丘2-330-133
TEL 04-7143-4399

印刷／株式会社キタジマ